

# 近年発生している地震の概要

## 目次

1. 近年発生している地震
2. 主要な地震の概要
  - ① 新潟県中越地震
  - ② 福岡県西方沖を震源とする地震
  - ③ 能登半島地震
  - ④ 新潟県中越沖地震
  - ⑤ 岩手・宮城内陸地震

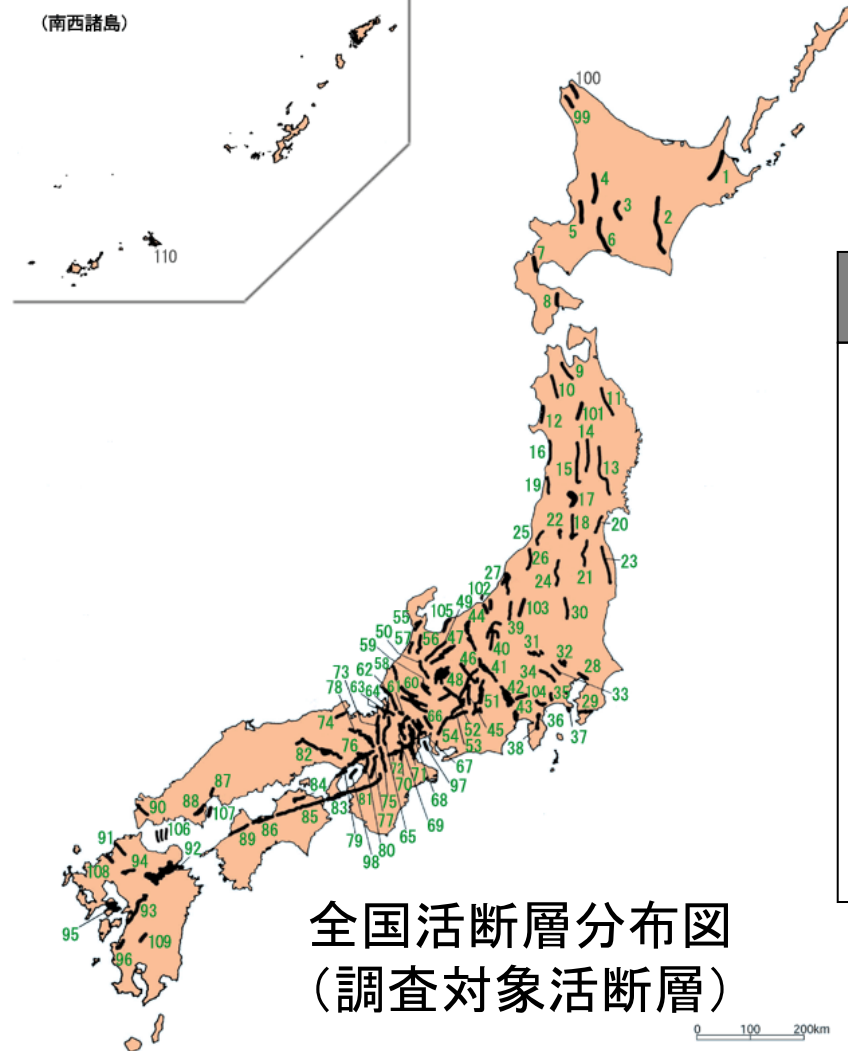
### 〈参考資料〉

- ・ 応急・復旧時の時系列対応
- ・ 市町村別被害概要

# 1. 近年発生している地震

## ○日本全国に活断層が分布

日本全国には、陸域に約2,000の活断層があると推定されている。地震調査研究推進本部では、中でもその活動が社会的、経済的に大きな影響を与えると考えられる調査対象活断層として、全国で110の活断層を指定し、調査を行っている。



全国活断層分布図  
(調査対象活断層)

### 調査観測対象基準

- (Ⅰ) 長さ20 km以上のもの
- (Ⅱ) 長さ10 km未満の場合で、ほぼ同じ走行を有する複数の活断層が、5 km間隔以内に隣接して分布し、その全長が20 km以上に及ぶ活断層帯(群)を形成するもの
- (Ⅲ) 長さ10~20 kmの場合で、ほぼ同じ走行を持つ他の10 km以上の活断層(帯、群)と10 km以内に隣接して分布し、その全長が20 km以上に及ぶ活断層帯(群)を形成するもの。

※必要が認められる場合には、随時見直しを行う

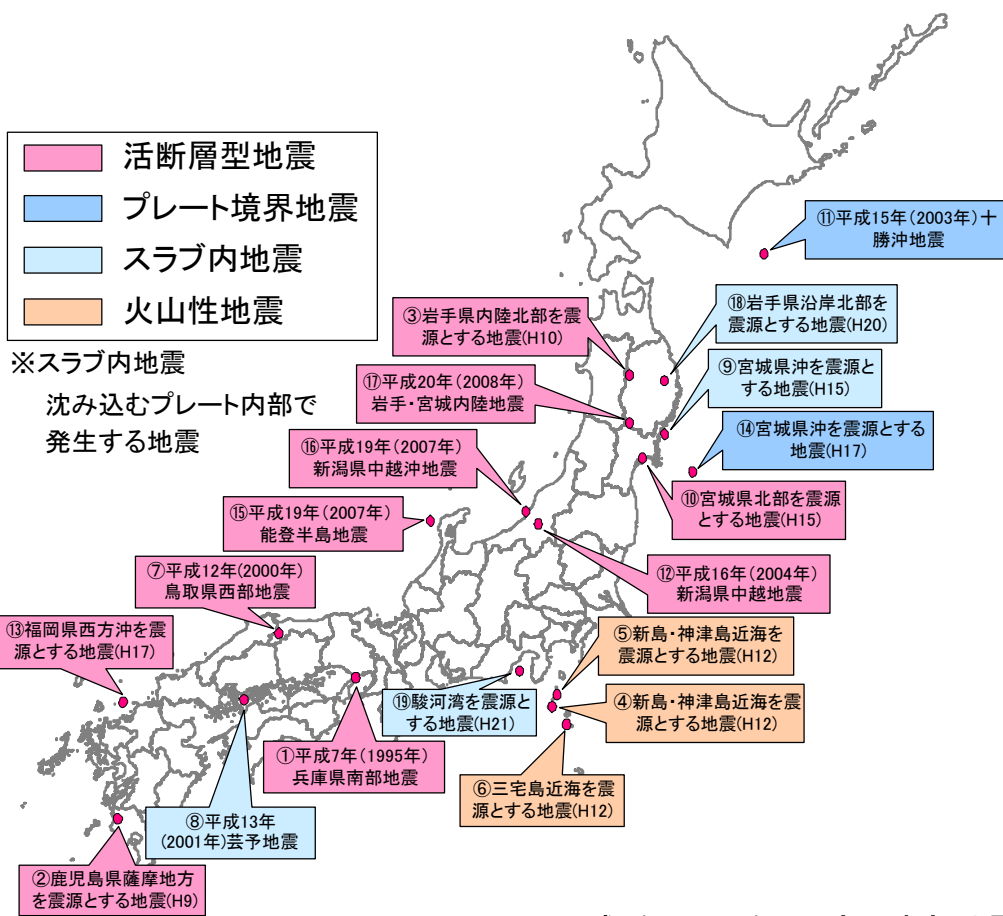
資料:地震調査研究推進本部(1997)  
「地震に関する基盤的調査観測計画」

# 1. 近年発生している地震

○近年被害を伴う地震が多数発生

→日本全国どこでも地震被害にあう可能性がある

平成7年(1995年)兵庫県南部地震以降、活断層型に加えて海溝型、火山性も含めて、人的被害を伴う震度6弱以上の地震が、地方都市を中心に19回発生。



地震名	発生年月日	マグニチュード	最大震度	死者 [行方不明者] (人)	負傷者 (人)	全壊家屋 (棟)
① 平成7年(1995年)兵庫県南部地震	1995.1.17	7.3	7	6,437	43,792	104,906
② 鹿児島県薩摩地方を震源とする地震(H9)	1997.5.13	6.4	6弱	0	74	4
③ 岩手県内陸北部を震源とする地震(H10)	1998.9.3	6.2	6弱	0	9	0
④ 新島・神津島近海を震源とする地震(H12)	2000.7.1	6.5	6弱	1	15	15
⑤ 新島・神津島近海を震源とする地震(H12)	2000.7.15	6.3	6弱			
⑥ 三宅島近海を震源とする地震(H12)	2000.7.30	6.5	6弱			
⑦ 平成12年(2000年)鳥取県西部地震	2000.10.6	7.3	6強	0	182	435
⑧ 平成13年(2001年)芸予地震	2001.3.24	6.7	6弱	2	288	70
⑨ 宮城県沖を震源とする地震(H15)	2003.5.26	7.1	6弱	0	174	2
⑩ 宮城県北部を震源とする地震(H15)	2003.7.26	6.4	6強	0	677	1,276
⑪ 平成15年(2003年)十勝沖地震	2003.9.26	8.0	6弱	1	849	116
⑫ 平成16年(2004年)新潟県中越地震	2004.10.23	6.8	7	68	4,805	3,175
⑬ 福岡県西方沖を震源とする地震(H17)	2005.3.20	7.0	6弱	1	1,204	144
⑭ 宮城県沖を震源とする地震(H17)	2005.8.16	7.2	6弱	0	100	1
⑮ 平成19年(2007年)能登半島地震	2007.3.25	6.9	6強	1	356	686
⑯ 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震	2007.7.16	6.8	6強	15	2,346	1,331
⑰ 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	2008.6.14	7.2	6強	17[6]	426	30
⑱ 岩手県沿岸北部を震源とする地震(H20)	2008.7.24	6.8	6弱	1	211	1
⑲ 駿河湾を震源とする地震(H21)	2009.8.11	6.5	6弱	1	319	0

平成7年(1995年)兵庫県南部地震以降に発生した、人的被害(死者、行方不明者、負傷者)を伴う震度6弱以上の地震

## 2. 主要な地震の概要

### ○新潟県中越地震以降、死者が発生している主要な地震の概要

発生日時	地震名	マグニチュード	最大震度	人的被害(人)		住家被害(棟)		震度5弱以上の余震回数(回)	土砂災害(件)	ピーク時避難者数(人)
				死者, 行方不明者	負傷者	全壊	半壊			
H16. 10. 23 17:56	新潟県中越地震	6.8	7	死者68	4,805	3,175	13,810	19	267	103,178
H17. 3. 20 10:53	福岡県西方沖を震源とする地震	7.0	6弱	死者1	1,204	144	353	2	12	2,984
H19. 3. 25 9:41	能登半島地震	6.9	6強	死者1	356	686	1,740	3	65	2,627
H19. 7. 16 10:13	新潟県中越沖地震	6.8	6強	死者15	2,346	1,331	5,709	1	108	12,724
H20. 6. 14 8:43	岩手・宮城内陸地震	7.2	6強	死者17 行方不明6	426	30	146	1	48	322
H21. 7. 24 0:26	岩手県沿岸北部を震源とする地震	6.8	6弱	死者1	211	1	0	0	6	10
H21. 8. 11 5:07	駿河湾を震源とする地震	6.5	6弱	死者1	319	0	5	0	34	-

# ① 新潟県中越地震

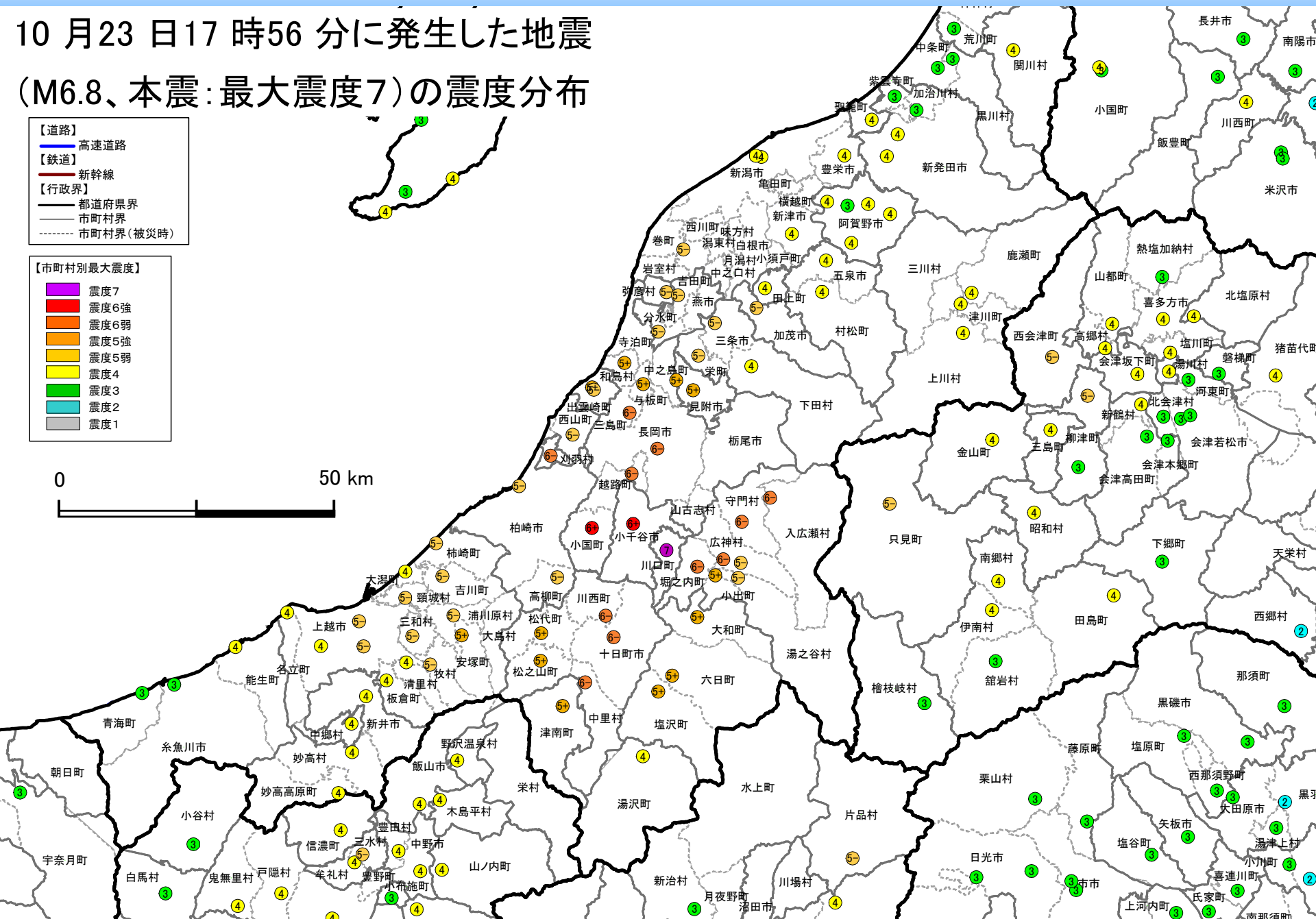
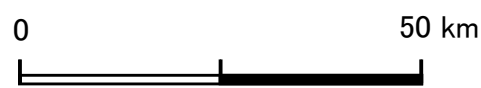
- ① 発生日時 平成16年(2004年)  
10月23日(土)17:56
- ② 震源地 新潟県中越  
(北緯37度17.5分、東経138度52.0分)
- ③ 震源の深さ 13 km
- ④ 規模 マグニチュード 6.8
- ⑤ 各市町村の最大震度(震度6強以上)
  - 震度7 新潟県 川口町
  - 震度6強 新潟県 小千谷市、山古志村(現長岡市)、小国町(現長岡市)
- ⑥ 被害状況 人的被害(死者68名 負傷者4,805名)  
住家被害(全壊3,175棟)

# ① 新潟県中越地震

10月23日17時56分に発生した地震  
(M6.8、本震:最大震度7)の震度分布

- 【道路】
  - 高速道路
  - 新幹線
- 【行政界】
  - 都道府県界
  - 市町村界
  - 市町村界(被災時)

- 【市町村別最大震度】
  - 震度7
  - 震度6強
  - 震度6弱
  - 震度5強
  - 震度5弱
  - 震度4
  - 震度3
  - 震度2
  - 震度1



# ① 新潟県中越地震

## 特徴

### ○人的被害4,873人、住家被害12万棟と甚大な被害が発生

震度7の本震に加えて、最大震度6弱以上の余震が4回発生し、兵庫県南部地震以降で最大の被害となった。

### ○中山間地域特有の土砂災害が発生（孤立集落、河道閉塞の発生）

土砂災害の頻発により、道路が寸断し多数の孤立集落が発生。山古志村や小千谷市東山地区では、全村避難が実施された。また、崩壊した土砂は河道を閉塞し、多くの河道閉塞（天然ダム）が形成された。いくつかの集落は水没する一方、下流域の集落では河道閉塞（天然ダム）決壊による土石流災害の危険性が高まった。

### ○避難所不足に伴う応急対応の遅れ、避難生活上の問題発生

指定避難所の収容力を遥かに上回る避難者が発生し、自主的な避難所が設置されるなど分散したため、物資の配送先が細分化されて対応の遅れにつながった。また、長期化する避難生活に伴って災害関連死の問題が発生し、特に高齢者にストレスや疲労による死者が多くみられた。プライバシーの確保等を理由に車中泊を長期間継続した住民の中には、エコノミークラス症候群により死亡する事例も認められた。

### ○事業(生業)への被害

山間地域での生活基盤であった養鯉業や重要無形民俗文化財「牛の角突き」の闘牛、牛舎に被害が出た。

# ① 新潟県中越地震

## 土砂災害の発生（河道閉塞、道路寸断）



長岡市(旧山古志村)、寺野地区 芋川右岸側河道閉塞状況 (H16.11.3)

市町村	崩壊箇所数	
	幅50m以上	計(含左)
長岡市	119	654
(うち旧山古志村)	(76)	(277)
小千谷市	117	757
川口町	44	432
十日町市	25	493
栃尾市	22	297
その他	35	1,158
計	362	3,791

国土交通省が航空写真等から判読した土砂災害箇所

土砂災害が多発し、震源地周辺の大部分の道路が不通となり、多くの集落が孤立化した。土砂災害により、50箇所以上の河道閉塞(天然ダム)が形成され、排水対策が実施されたが、決壊の危険性のため、避難勧告が出された集落もあった。

(資料)左図:北陸地方整備局HP 右表:長岡市「災害の検証 被災体験・災害対応体験を生かして」



# ① 新潟県中越地震

## 孤立集落の発生（救出・避難）



新潟県防災ヘリが被災地から村民を救助し避難所へ搬送  
(山古志中学校グラウンド)

市町村	孤立集落数	ヘリコプターによる救助・避難があった集落数
長岡市	4	1
小千谷市	28	9
十日町市	9	0
山古志村	14	14
川口町	3	1
小国町	1	0
栃尾市	2	0
合計	61	25

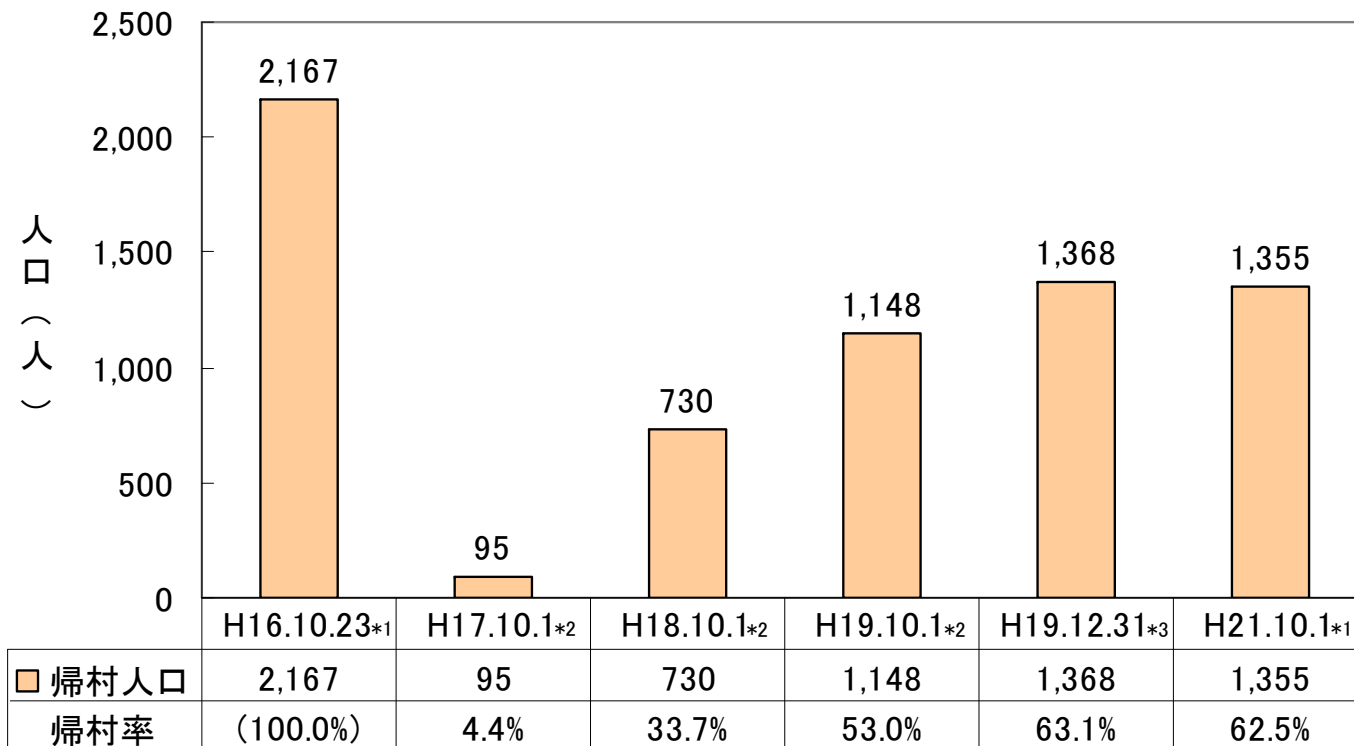
孤立地区がある市町村の救助避難に関する状況

通信途絶のため、道路に字を書いて救助を求める被災者もいた。また、孤立した61集落のうち25集落 1,000人以上が、防災ヘリ等により被災地から避難所へ救助・搬送された。

(資料)左図:新潟県HP、右図:内閣府政策統括官「平成16年度 新潟県中越地震における防災関係機関の活動実態調査報告書」

# ① 新潟県中越地震

## 旧山古志村の帰村人口と帰村率の推移



\*1 住民基本台帳

\*2 住民基本台帳を元に、避難先で集計

\*3 仮設住宅退去時点、住民基本台帳を元に集計

全村避難を実施した旧山古志村では、被災から約5年たった平成21年10月1日時点で、住民の帰村率は62.5%となっている。

# ① 新潟県中越地震

## 避難所の不足



川口町役場前の避難状況

旧市町村	避難者数		使用された避難所数	
	指定避難所	それ以外の避難所	指定避難所	それ以外の避難所
長岡	41,502人	8,598人	73箇所	52箇所
中之島	959人	-	11箇所	-
越路	2,922人	-	9箇所	-
三島	501人	59人	3箇所	5箇所
山古志 *1	0人	2,167人	0箇所	6箇所
小国	1,803人	-	7箇所	-
和島	77人	-	1箇所	-
栃尾	968人	1,114人	9箇所	7箇所
与板	0人	335人	0箇所	5箇所
寺泊	81人	-	2箇所	-

\*1 全村避難を実施

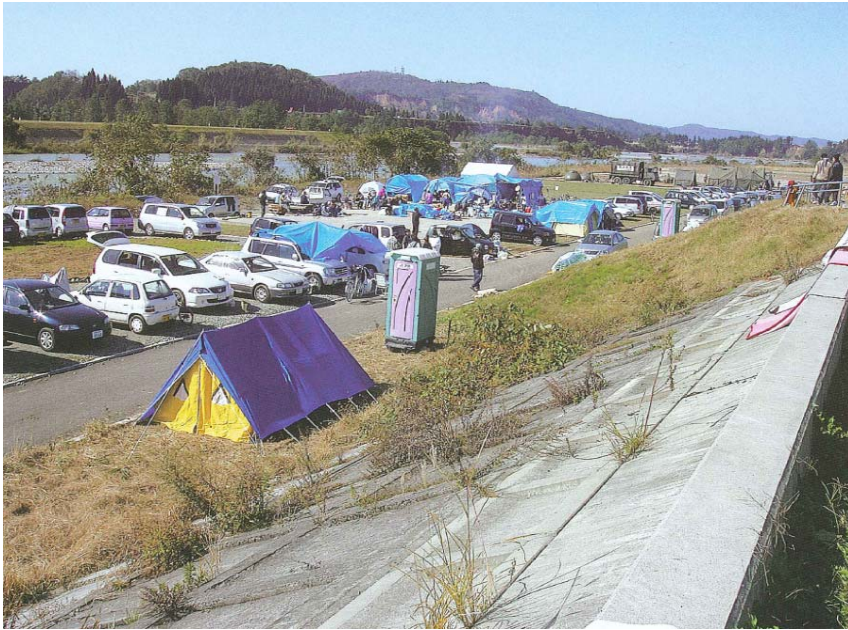
指定避難所以外の場所にも多くの避難者が避難し、情報の把握と伝達が困難となったり、食料等の配送に従事する職員や車両が不足した。

(資料)左図:新潟県(2006)「中越大震災」

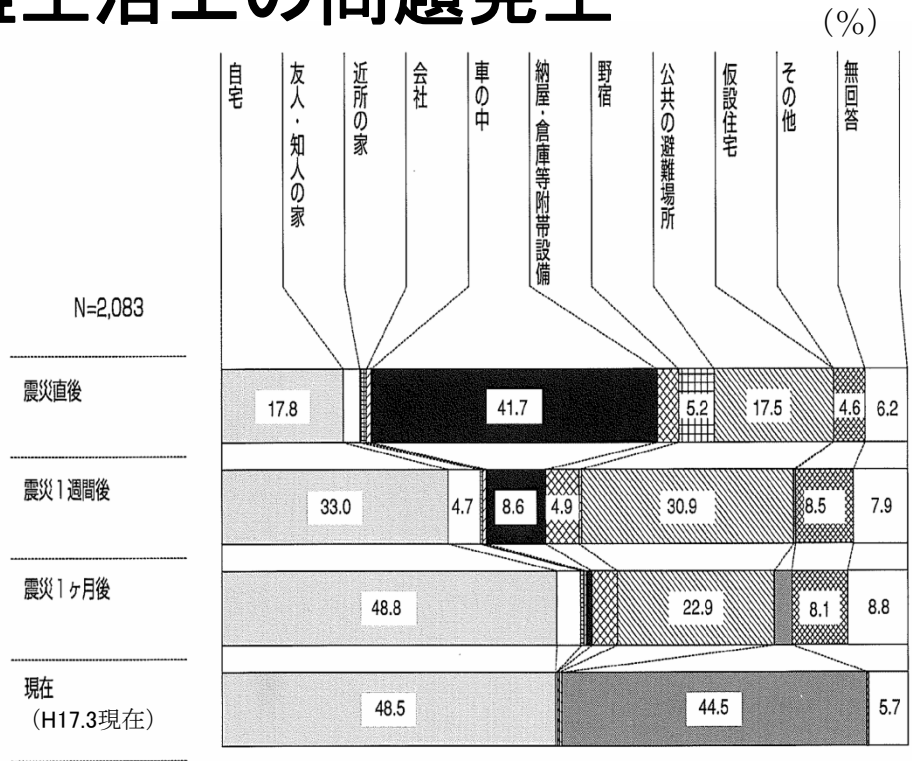
右図:長岡市災害対策本部

# ① 新潟県中越地震

## 災害関連死等の避難生活上の問題発生



河川敷避難・プライバシーが保たれるマイカーで、河川敷などに避難する被災者も多かった。(H16.10.28、川口町)



※その他の代表的な記載内容:

テント、ビニールハウス内、教会、賃貸マンション、寺院

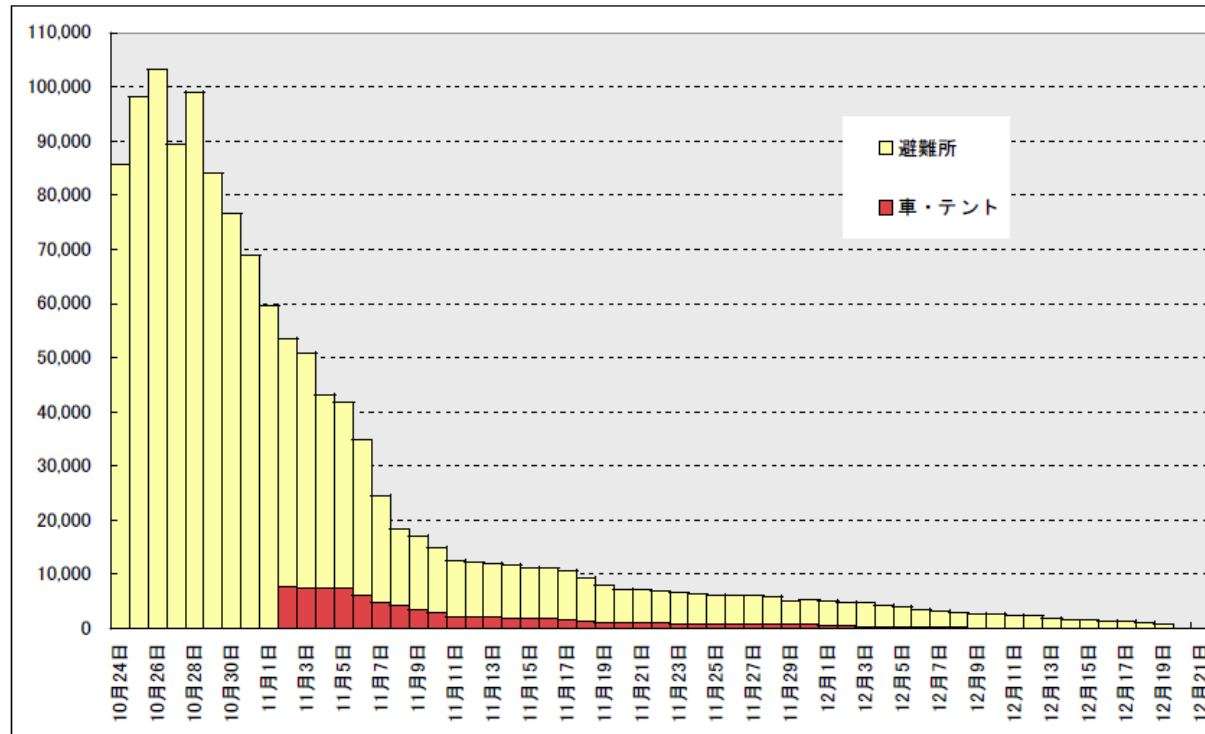
自動車避難した人の中には、長期間狭い車内で同じ姿勢での生活を送るとともに、水分を控えた状態等のために、エコノミークラス症候群により死亡する事例が認められた。

(資料)左図:新潟県(2006)「中越大震災」

右図:日本赤十字社(2006)

# ① 新潟県中越地震

## 避難生活の長期化対策の実施



避難所生活の長期化に伴う健康悪化防止や、自宅再建の促進の観点から、自宅周辺でのテントやユニットハウスを避難所として提供する「分散型避難所」が試みられた。

(資料)表:内閣府(2005)新潟県中越地震における防災関係機関の活動実態調査報告書  
本文:新潟県(2006)「中越大震災」

# ① 新潟県中越地震

## 事業（生業）への被害



倒壊した家屋とニシキゴイの被害  
(小千谷市)

錦鯉	・死亡約18万匹 ・野池120haが流出・埋没 ・越冬施設損壊80棟
乳牛	34頭中9頭死亡 (25頭全て陸路で避難)
肉用牛	1246頭中115頭死亡 (1102頭はヘリで、29頭は陸路で避難)
闘牛	63頭中17頭死亡 (22頭はヘリで、24頭は陸路で避難)

旧山古志村での生業への被害

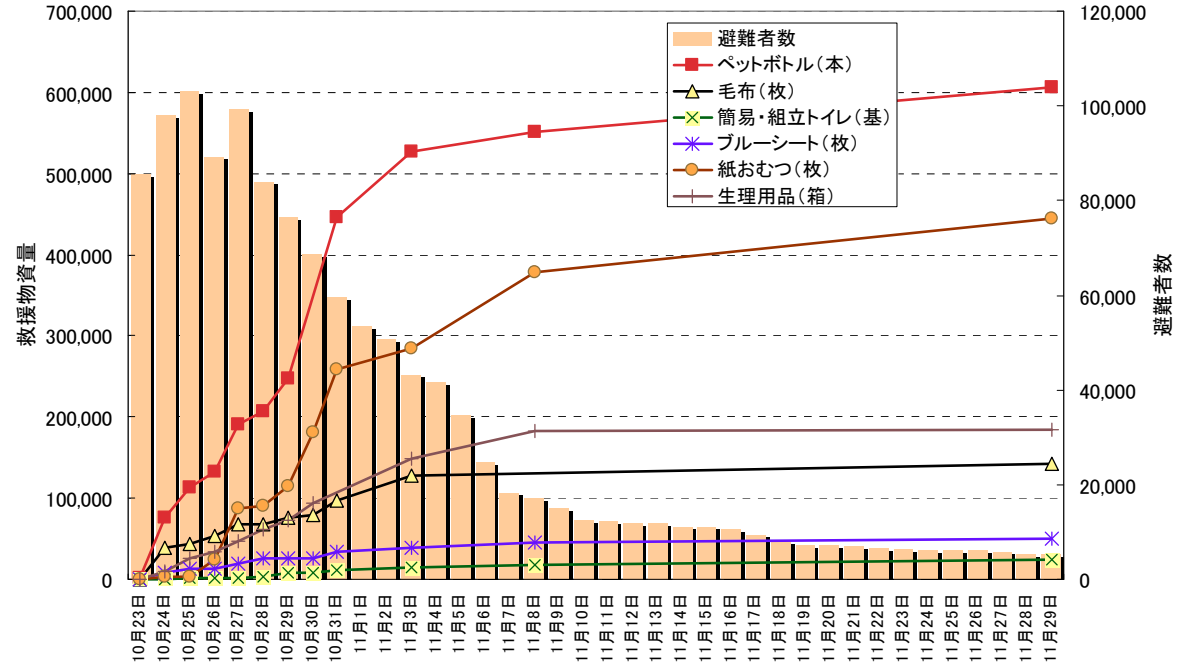
山間地域での生活基盤であった養鯉業や重要無形民俗文化財「牛の角突き」の闘牛、牛舎に被害が出た。

# ① 新潟県中越地震

## 全国から大量に届けられた救援物資



長岡市役所1階ホール



他市町村からの救援物資

全国から大量かつ種々雑多な物が一緒に梱包された救援物資が被災地に届けられ、仕分け作業に大きな支障が生じた。

(資料)左図:長岡市HP 右図:総務省消防庁「新潟県中越地震復興支援ニュース」

# ① 新潟県中越地震

## 廃棄物が大量に発生



災害ごみの収集(長岡市)

被災市町村	A) 前年度廃棄物量 (t/年間)	B) 災害廃棄物 (t)	C) 換算月数 (B/A×12) (箇月分)
旧長岡市	87,373	118,014	16
小千谷市	16,665	99,210	71
見附市	17,463	14,888	10
川口町	2172	50,874	281

災害廃棄物: 解体廃棄物と生活系災害廃棄物の合計

※特定家電を除く

被災市町村	住宅の被害状況(棟)				
	全壊	大規模半壊	半壊	一部損傷	計
新潟県	3,175	2,163	11,609	103,603	120,550
旧長岡市	927	918	4,947	42,536	49,328
小千谷市	622	370	2,379	7,521	10,892
見附市	53	18	461	-	532
川口町	602	142	335	312	1,391

※新潟県報道発表資料: 平成16年新潟県中越大震災による被害状況について(第168報)

避難所から出たゴミと住宅の片付けによるゴミが大量に発生し、被災地の施設のみでは処理できない状態になった。

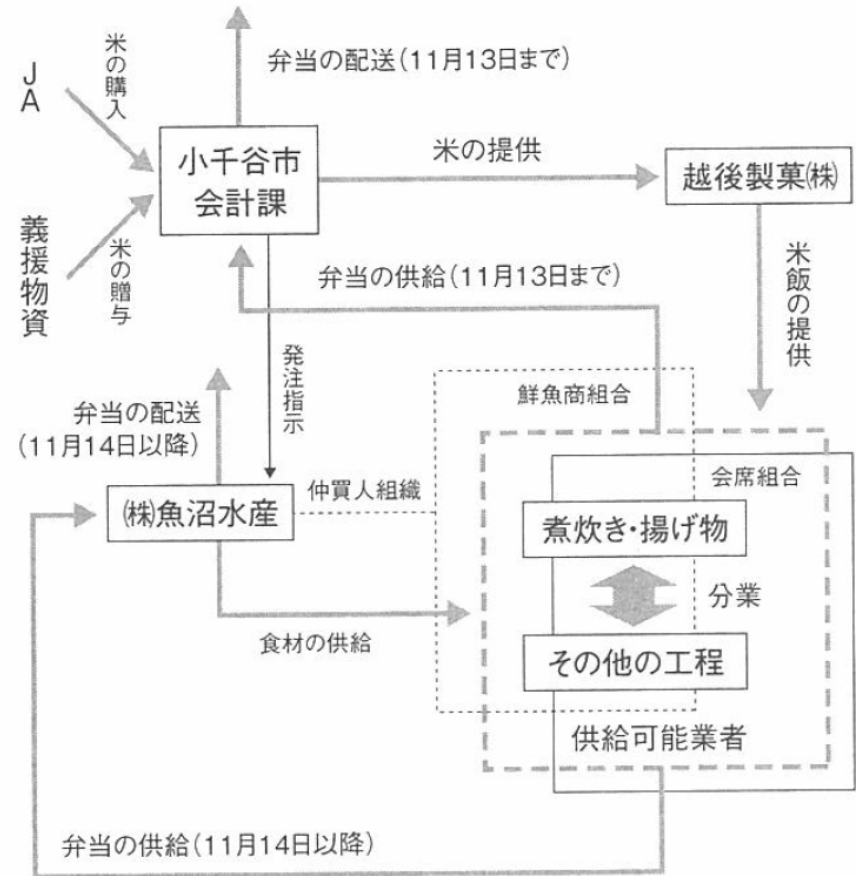
(資料)左図:長岡市HP 右図:環境省



# ① 新潟県中越地震

## 被災地の産業を活性化する「弁当プロジェクト」

小千谷市では、地元の弁当業者等に被災者向けの弁当を発注することにより、雇用の維持に役立てた。遠距離の食料配送に伴う食中毒等のリスク軽減にもつながった。



※中越沖地震時の柏崎市では、復旧業者の弁当を受注することにより利益を生み出すことに成功した。

(資料)永松伸吾(2007)「地震に負けるな地域経済 小千谷・柏崎発「弁当プロジェクト」のススメ

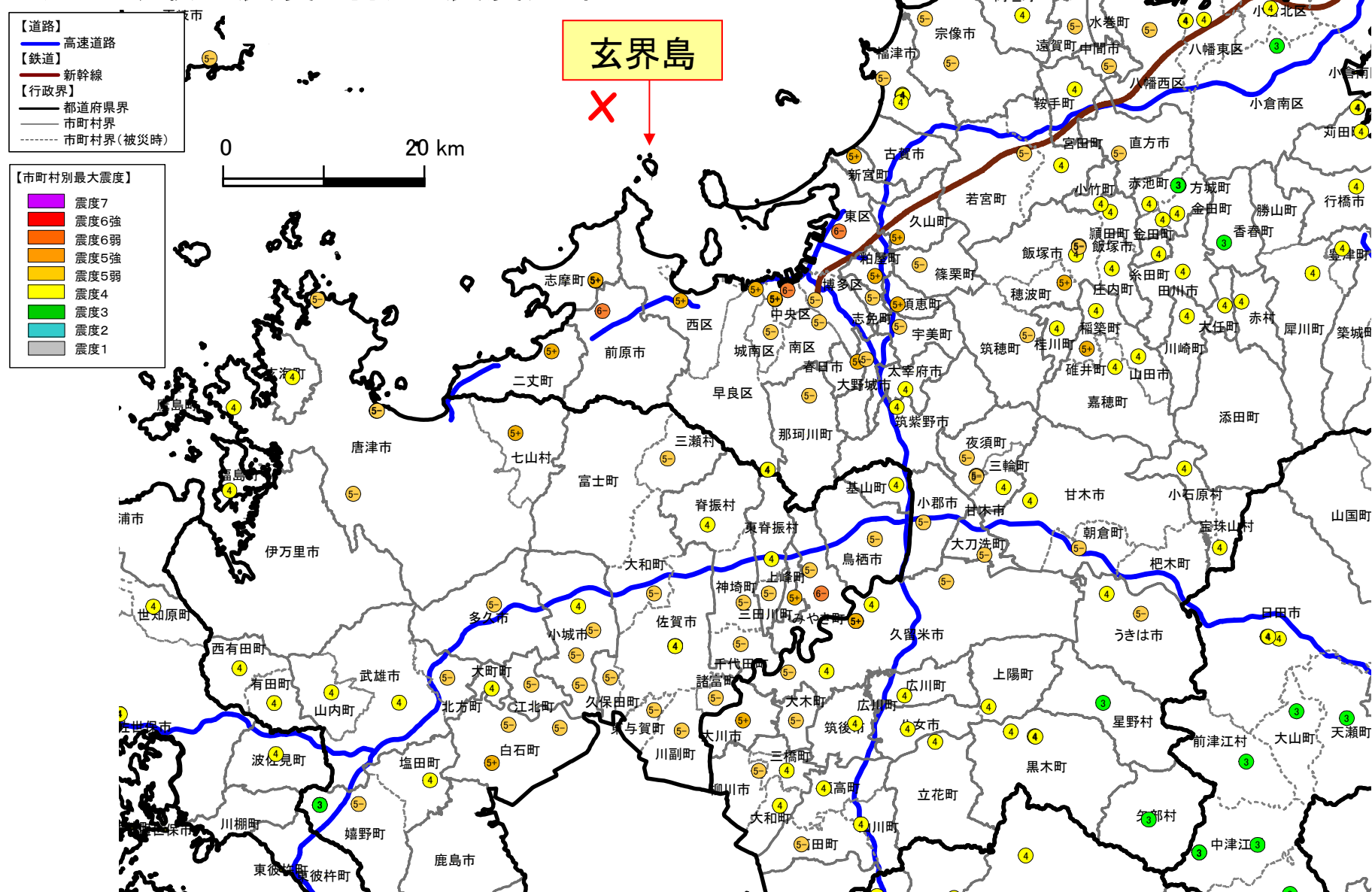
## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

- ① 発生日時 平成17年3月20日(日・祝) 10:53
- ② 震源地 福岡県西方沖  
(北緯33度44.3分、東経130度10.5分)
- ③ 震源の深さ 9 km
- ④ 規模 マグニチュード 7.0
- ⑤ 各市町村の最大震度(震度6弱以上)  
震度6弱 福岡県 福岡市(中央区、東区)、  
前原市  
佐賀県 みやき町
- ⑥ 被害状況 人的被害(死者1名 負傷者1,204名)  
住家被害(全壊144棟)

## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

3月20日10時53分に発生した本震

(M7.0、最大震度6弱)の震度分布



## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

### 特徴

#### ○玄界島で全島避難

震源に近い玄界島(福岡市西区)では、多くの家屋が全半壊し、島のほとんどの家屋が被災した。地震発生当日に自主避難により全島避難が実施され、九電記念体育館(福岡市中央区)へ避難した。

#### ○島民参加型の復興

島民意向調査、島民総会、ワークショップ・座談会等を通して、島民参加型でしまづくり案(復興計画)を策定し、復興事業を推進した。

#### ○避難所生活のストレス軽減化

避難所となった九電記念体育館では、プライバシーの確保を目的として間仕切りを設置した。また、体育館内に診療所を設置したり、ストレス軽減のために「こころのケア」を実施するなど、避難所生活でのストレス軽減が図られた。

## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

### 被害が玄界島に集中（全島避難を実施）



ビニールシートに覆われた被災家屋(福岡市西区玄界島)

【住家被害数】

区分	全壊棟数
全市	141
東区	6
博多区	9
中央区	9
南区	1
城南区	0
早良区	2
西区(玄界島除)	7
玄界島	107

震源に近い玄界島では、島のほとんどの家屋が被災（全214件中107件が全壊）し、地震発生当日に全島避難が実施された。

（資料）福岡市(2008)「平成20年版、福岡県西方沖地震記録誌」

## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

### 玄界島復興の様子



復興が完了した玄界島  
(福岡市西区玄界島)

年月日	主な動き
平成17年3月20日	10:53 福岡県西方沖地震発生
	17:00 玄界島住民全島避難開始 (24:00九電記念体育館への避難完了)
4月12日	玄界島復興事務所設置 ※島民と協議調整するために市が設置
4月25日	かもめ広場 (中央区港2丁目) 仮設住宅入居開始 (116戸)
4月26日	玄界島仮設住宅入居 (84戸)
4月30日	漁再開
5月21日	第1回島民総会: 斜面地の一体的整備を決定
6月18日	第1回意向調査 (20日まで)
7月17日	第2回島民総会: しまづくり案提示、事業手法を決定
8月5日	第2回意向調査 (16日まで)
8月17日	玄界島復興まちづくりワークショップ
9月10日	第3回島民総会
9月12日	現況測量・建物調査開始
10月22日、25日、30日	座談会
11月26日	第4回島民総会、第3回意向調査 (9日まで)
平成18年1月28日	第5回島民総会: しまづくり案決定
3月16日	家屋解体工事着手
平成19年3月20日	県営住宅完成記念式
3月25日	かもめ広場から玄界島への引越 (一部帰島)
11月上旬	戸建住宅建設工事開始
平成20年3月23日	戸建住宅への引越開始
3月25日	かもめ広場から玄界島への引越 (全員帰島)
3月31日	玄界島復興事務所解散

被災住宅が密集している地区の住環境改善及び災害防止のため、小規模住宅地区改良事業の手法により、復興が進められた。

(資料)福岡市(2008)「平成20年版、福岡県西方沖地震記録誌」  
福岡市(2008)「玄界島震災復興記録誌」

## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

### 島民参加型の復興



ワークショップの様子(福岡市西区玄界島)

玄界島復興まちづくりワークショップを行いながら、小規模住宅地区改良事業を実施。地震から3年と5日後の2008年3月25日に帰島完了。

	主な議題・内容等	主な決定事項等
第1回島民総会 平成17年5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>各島民による今後の復興に向けた意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島民が一丸となって復興に取り組む</li> <li>被害の大きい斜面部分は一体的整備を行政に要望</li> </ul>
第2回島民総会 7月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄界島復興対策検討委員会規約</li> <li>震災復興事業事例視察報告</li> <li>住民意向調査結果</li> <li>まちづくり案</li> <li>その他(義援金などの用途)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民意向調査の結果、復興後の住まいについて、半数が公営住宅を希望し、三分の一が自己所有住宅を希望</li> <li>まちづくり案を提示し、『小規模住宅地区改良事業』に合意</li> </ul>
玄界島復興まちづくりワークショップ 8月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>タコ(他己)紹介</li> <li>玄界島をイカすところクイズ</li> <li>ここをイカそう玄界島(玄界島の将来像について考えよう!)</li> <li>これがよかタイ玄界島(島のメインゾーンで何をしたいか考えよう!)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島民44名が参加(10団体より4~5名ずつ参加)</li> <li>「観光客・定住者を増やし活気ある玄界島にしたい」「豊かな自然・水産物を活かした働く場や観光の場を整備したい」等大きく5項目にまとめを整理</li> </ul>
第3回島民総会 9月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二回住民意向調査の結果</li> <li>玄界島復興まちづくりワークショップの報告</li> <li>小規模住宅地区改良事業の進捗状況報告等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二回島民総会で示された「まちづくり案」について約7割の住民が肯定的評価</li> <li>第二回住民意向調査の結果、復興後の住まいについて、4割が公営住宅、2割が戸建住宅を希望</li> </ul>
座談会 10月22日, 25日, 30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり案の具体化のための座談会</li> <li>団体ごとに約10名を代表者を選出し、関係の深いテーマについて議論</li> <li>救護所(消防団・青年団・フリー)、青壮年・OB、婦人消防団・PTA、老人会、女性部を対象に実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい生活環境(車・道路)」「にぎわいゾーンのあり方」「高齢者施設等」「神社・地藏堂・観音堂・井戸等の再建」「産業振興策」「防災・救急・安全・安心」「子育て(教育)環境」をテーマに意見を整理</li> </ul>
第4回島民総会 11月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地・建物の買取基準・価格(意向調査の目安)について</li> <li>小鷹神社の修復について等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地・建物の買取価格の評価方法と目安を説明。分かりにくかった方を対象として、11月28・29日、12月1日に地区別の説明会を開催</li> <li>小鷹神社については島民みんなで修復することを決定(費用は各世帯の義援金から均等に集める等)</li> </ul>
第5回島民総会 平成18年1月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの取り組み内容</li> <li>しまづくり案等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しまづくり案決定</li> </ul>
復興事業着手 3月16日		

## ② 福岡県西方沖を震源とする地震

### 避難所生活のストレス軽減化



避難所となった九電記念体育館(福岡市)

#### 【避難所での主な対応】

主な対策	概要
避難所の居住環境の改善	<ul style="list-style-type: none"><li>・プライバシー保護のための間仕切りの設置</li><li>・畳搬入 ・布団の乾燥・消毒 ・ロッカー設置</li><li>・女性更衣室設置 ・BGM導入</li><li>・自衛隊による談話用等のテント設営 等</li></ul>
健康相談 (保健福祉局)	健康相談コーナーを設置し、メンタルヘルスを含む健康相談を実施
健康体操 (保健福祉局と健康づくり財団)	ラジオ体操とストレッチ体操を実施
感染症予防 (保健福祉局)	<ul style="list-style-type: none"><li>・トイレなどに手指消毒剤、薬用石鹸を設置</li><li>・健康調査を実施し、65歳以上の高齢者を中心にインフルエンザ予防薬を投与、マスクを配布</li></ul>
ボランティア	子どもの遊び相手、理容・美容、炊き出し、入浴サービス等
医療体制の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・玄界診療出張所を開所</li><li>・日本赤十字社が診療や医療相談を実施</li></ul>

避難所では、プライバシーの保護を目的として間仕切りを設置した。また、体育館内に診療所を設置したり、ストレス軽減のために「こころのケア」を実施するなど、避難所生活でのストレス軽減が図られた。



### ③ 能登半島地震

- ① 発生日時 平成19年3月25日(日) 9:41
- ② 震源地 能登半島沖  
(北緯37度13.2分、東経13度41.1分)
- ③ 震源の深さ 11 km
- ④ 規模 マグニチュード 6.9
- ⑤ 各市町村の最大震度(震度6弱以上)
  - 震度6強 石川県 七尾市、輪島市、穴水町
  - 震度6弱 石川県 志賀町、中能登町、能登町
- ⑥ 被害状況 人的被害(死者1名 負傷者356名)  
住家被害(全壊686棟)

# ③ 能登半島地震

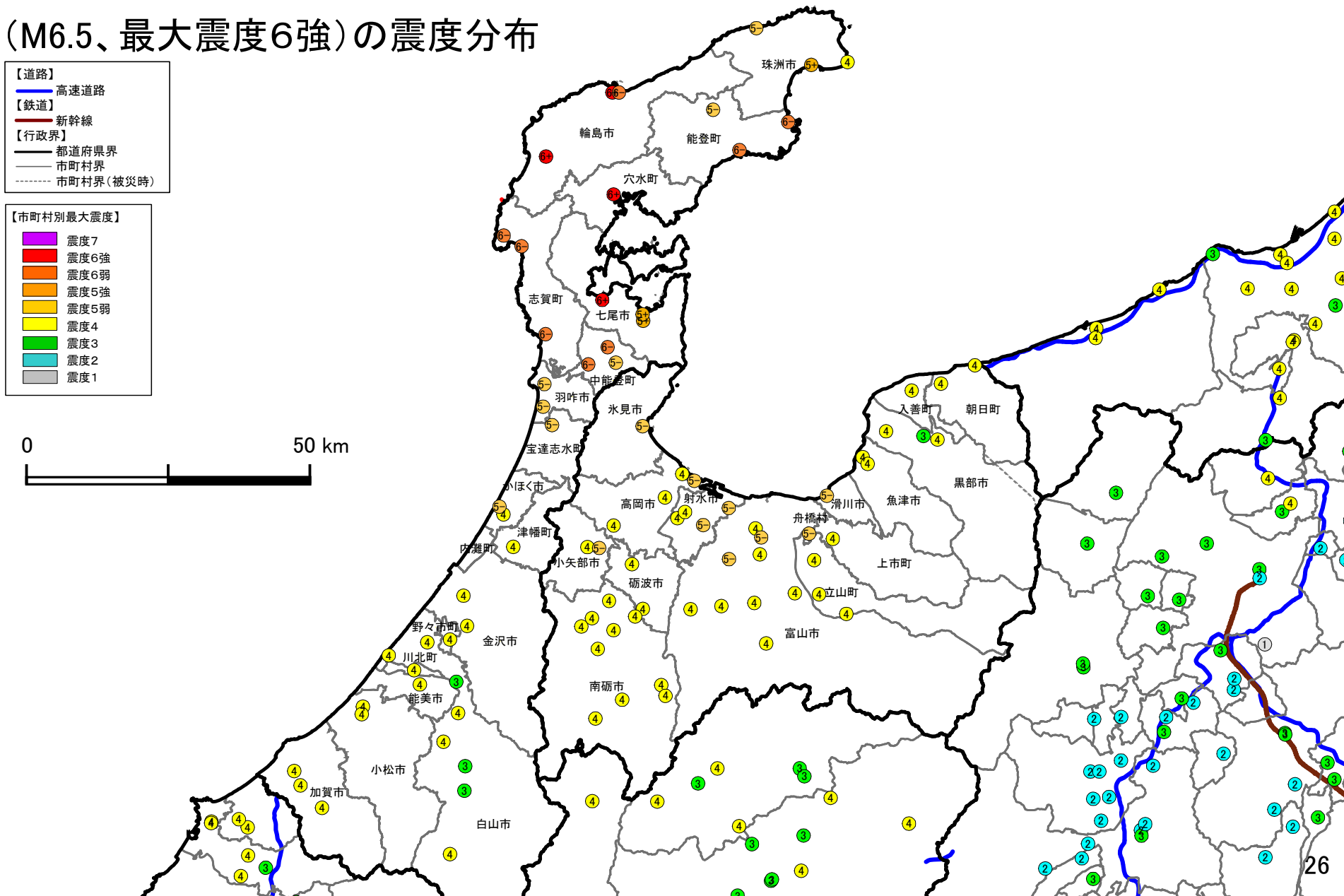
3月25日9時41分に発生した本震

☹

(M6.5、最大震度6強)の震度分布

- 【道路】  
— 高速道路
- 【鉄道】  
— 新幹線
- 【行政界】  
— 都道府県界  
— 市町村界  
- - - 市町村界(被災時)

- 【市町村別最大震度】
- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3
- 震度2
- 震度1



## ③ 能登半島地震

### 特徴

#### ○高齢化の進んだ地域が被災

震度6強を観測した穴水町の高齢化率は34.9%、輪島市は35.2%であり、全国平均(20.1%)と比べて、高齢化の進んだ地域が被災した。

#### ○高齢者の避難生活に対するサポート

県は、健康管理チームを編成し、避難所での健康管理活動を実施。

#### ○伝統産業・中小企業の被災

輪島塗、商店街、酒造業を中心に、伝統産業・中小企業に被害が出た。

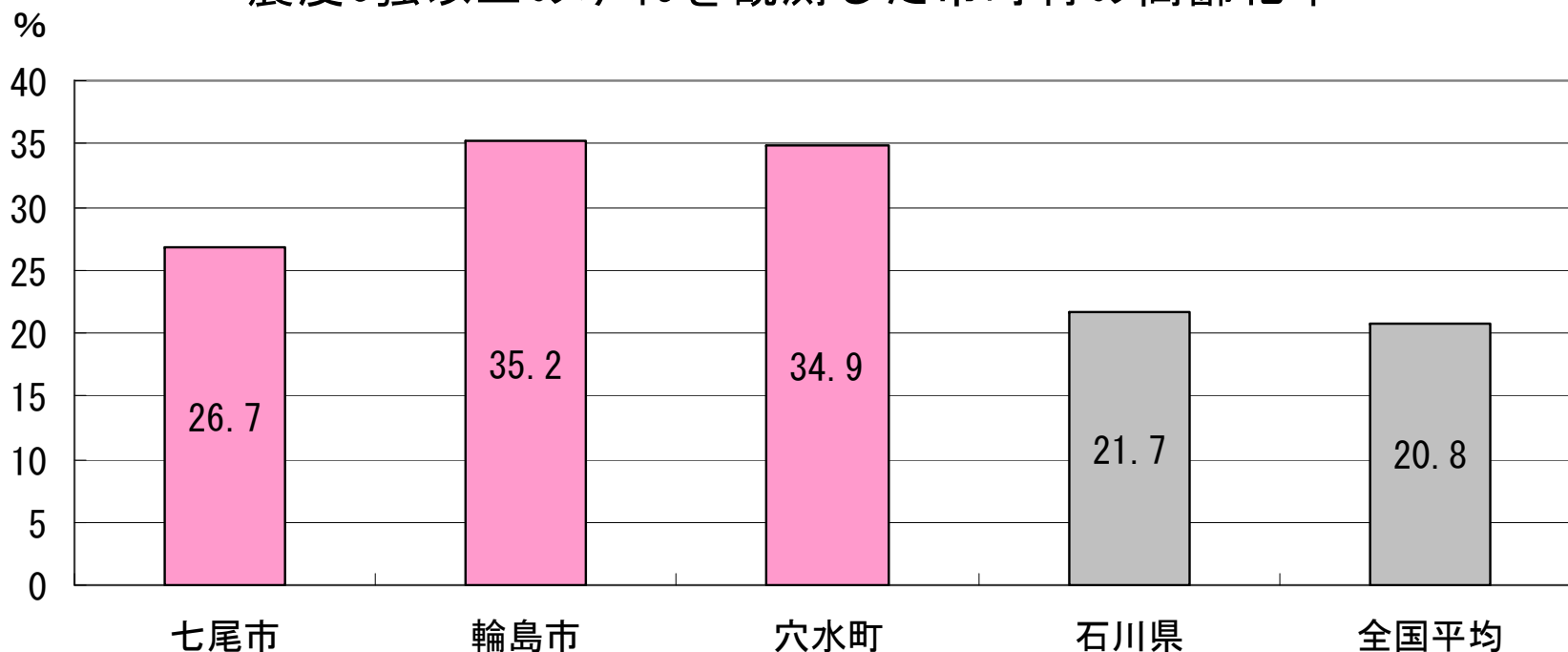
#### ○被災経験のある市町村による支援

過去に被災経験のある市町村からの支援によって、対応が進められた。

### ③ 能登半島地震

## 高齢化率の高い地域が被災

震度6強以上のゆれを観測した市町村の高齢化率



穴水町の高齢化率は34.9%、輪島市で35.2%であり、高齢化の進んだ地域が被災した。

※他地震の主要被災市町村での高齢化率(被災時):

【新潟県中越地震】長岡市(20.2)、山古志村(39.7)、小千谷市(25.6)、川口町(27.4)

【新潟県中越沖地震】長岡市(23.7)、柏崎市(26.2)、刈羽村(26.6)、飯綱町(27.2)

【岩手宮城内陸地震】奥州市(27.6)、栗原市(31.1)

### ③ 能登半島地震

## 避難所での健康管理活動を実施



避難生活での健康維持のため、体操する避難所のお年寄りや子どもたち＝3月27日、輪島市門前町の門前西小学校



避難所を巡回し住民の健康相談にのる医療チーム＝3月26日、輪島市の諸岡公民館

県保健福祉センターは、被災者支援を円滑に行うために、市保健師への支援、県内外保健師・看護師等の総合調整、県庁との連絡調整等を行った。

(資料)左図:石川県(2009)「平成19年 能登半島地震災害記録誌」

右図:石川県(2009)「平成19年 能登半島地震災害記録誌」

### ③ 能登半島地震

## 健康管理活動のための県内外からの応援、派遣スタッフ

チーム名	活動内容	期間	活動延べ人数
医療チーム	(a)救護諸活動(3箇所)、救護所の無い避難所における巡回診療、(b)門前地区11ヶ所、輪島地区3ヶ所の避難所の夜間巡回診療	3月31日 ～4月27日	(a) 543人 (b) 68人
健康管理チーム	避難所における避難住民の健康管理、感染症予防、エコノミークラス症候群予防、廃用性症候群予防活動、在宅被災者に対する家庭訪問による健康管理、健康相談等	3月25日 ～4月22日	1,105人
こころのケアチーム	避難所等の巡回、訪問、心のケアの実施、被災住民への啓発普及	3月26日 ～4月29日	450人
子どもの心のケアチーム	子どもや保護者、保育士などへの心のケアや啓発活動、相談助言	4月7日 ～4月27日	129人
介護チーム	避難所における高齢者の介護	4月2日 ～4月29日	239人 (6-12人/日)
栄養士チーム	避難所の食事管理や被災者の栄養に関する相談	3月26日 ～4月16日	22人
薬剤師チーム	炊き出し指導、衛生指導、避難者の服薬指導等	3月26日 ～4月18日	-
リハビリテーションチーム	避難所巡回、高齢者緊急受け入れ先の調査、個別相談、避難所のバリアフリー化、特別養護老人ホーム避難者への指導、仮設住宅入居者の生活支援	3月28日 ～6月5日	34人

### ③ 能登半島地震

## 伝統産業の被災



事業所(輪島漆器)の被害状況(輪島市)



壁がはがれ落ちた漆器店の土蔵(輪島市)

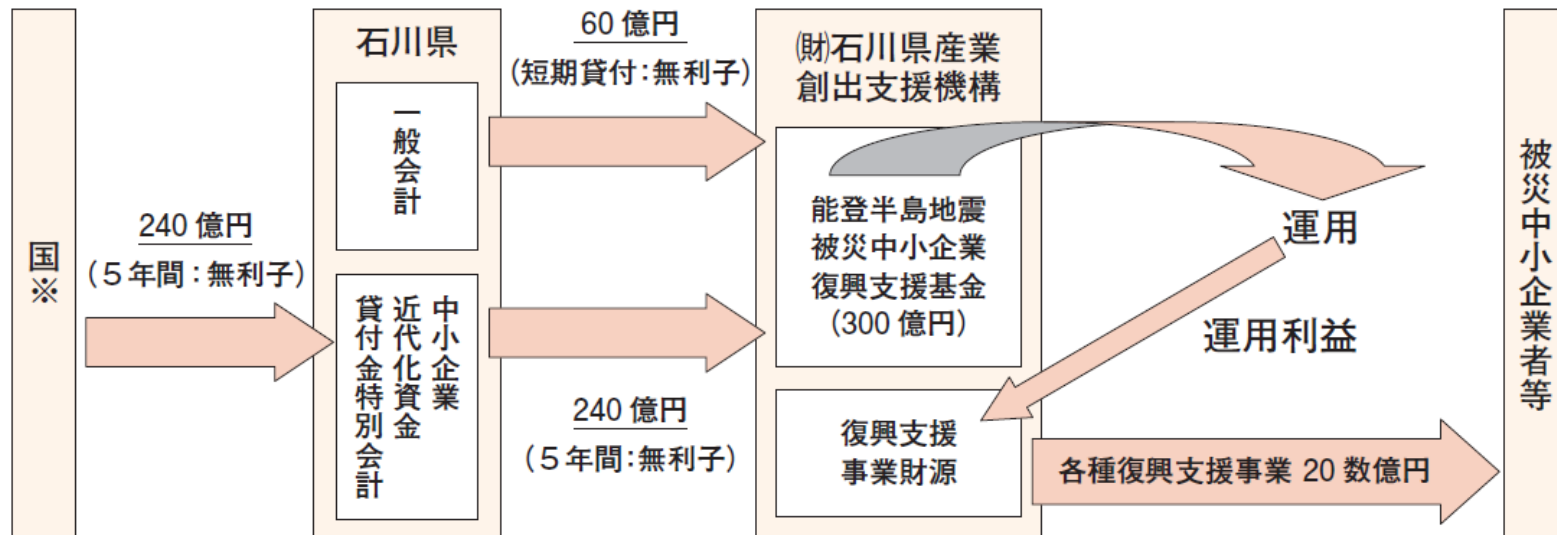
輪島塗の全事業所のうち、78の事業所が全半壊し(全壊46件、半壊32件)、輪島市の伝統産業である輪島塗は大きな被害を受けた。H21年末時点で復旧工事に着手している事業所は53件、工事が完了したものは47件である。

(資料)左図:石川県(2009)「平成19年 能登半島地震災害記録誌」

右図:輪島市長 梶 文秋「能登半島地震を経験して」～首長としての危機管理～

# ③ 能登半島地震

## 中小企業の復興支援



※経済産業省の所管する独立行政法人中小企業基盤整備機構

能登半島地震被災中小企業復興支援事業スキーム

これまでは政府系金融機関からの特別被災融資に対する利子補給のみが対象だったが、様々なハード、ソフト事業への支援を認めた(石川県方式)。輪島漆器、酒造業、商店街の3業種を能登地域の代表的な地場産業と位置付け基金による重点的な支援を行った。



### ③ 能登半島地震

## 県外の自治体による支援

各県・市からの応援状況（消防、警察関係を除く）

応援内容	応援県・市
被災建築物応急危険度判定	富山県、福井県
応急給水	長岡市、富山市、高岡市、射水市、福井市、名古屋市
下水道処理施設調査、応急対応	富山県、名古屋市
農地の現地測量など	新潟県、富山県、福井県
避難住民の健康管理、在宅被災者の家庭訪問など	新潟県、富山県、福井県、新潟市
心のケアチーム派遣	青森県、静岡県、兵庫県、和歌山県
子どもの心のケアチーム派遣	新潟県、山梨県、愛知県、三重県、兵庫県
災害廃棄物運搬	高岡市、福井市、名古屋市



長岡市長から輪島市長への支援（輪島市役所）

様々な分野で、県外の多くの自治体から応援を受けた。

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震の被災経験を持つ自治体からの支援もあった。

（資料）左図：石川県（2009）「平成19年 能登半島地震災害記録誌」

（資料）右図：能登半島地震の被害の状況と政府の対応（第20回中央防災会議資料） 33

## ④ 新潟県中越沖地震

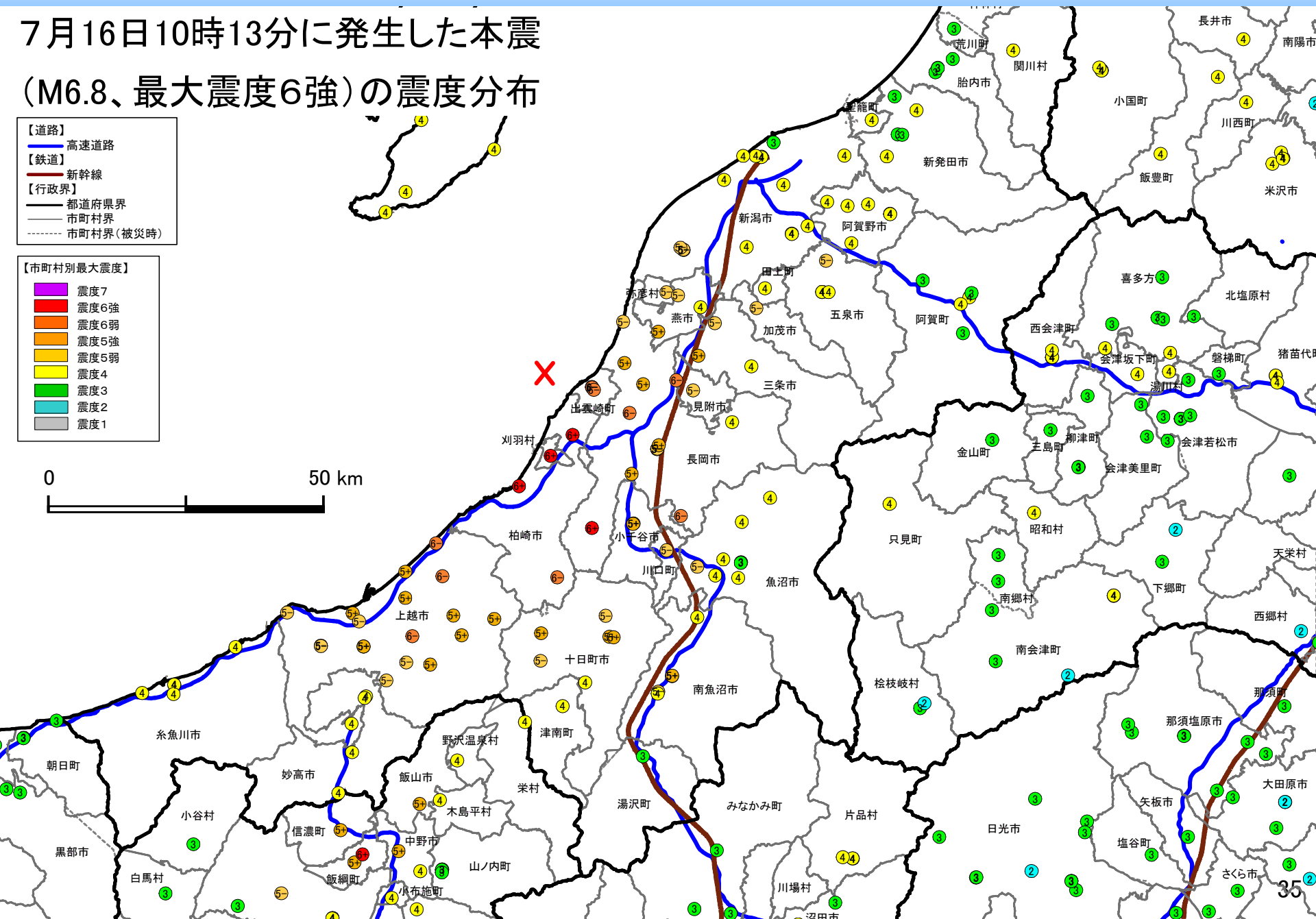
- ① 発生日時 平成19年7月16日(月・祝) 10:13
- ② 震源地 新潟県上中越沖  
(北緯37度33.4分、東経138度36.5分)
- ③ 震源の深さ 17 km
- ④ 規模 マグニチュード 6.8
- ⑤ 各市町村の最大震度(震度6弱以上)
  - 震度6強 新潟県 柏崎市、長岡市、刈羽村  
長野県 飯綱町
  - 震度6弱 新潟県 上越市、小千谷市、出雲崎町
- ⑥ 被害状況 人的被害(死者15名 負傷者2,346名)  
住家被害(全壊1,331棟)

# ④ 新潟県中越沖地震

7月16日10時13分に発生した本震  
(M6.8、最大震度6強)の震度分布

- 【道路】
  - 高速道路
  - 鉄道
  - 新幹線
- 【行政界】
  - 都道府県界
  - 市町村界
  - 市町村界(被災時)

- 【市町村別最大震度】
  - 震度7
  - 震度6強
  - 震度6弱
  - 震度5強
  - 震度5弱
  - 震度4
  - 震度3
  - 震度2
  - 震度1



## ④ 新潟県中越沖地震

### 特徴

#### ○商店街を中心とした家屋被害が多数発生

柏崎市、刈羽村、出雲崎町などの中心部に被害が集中し、中心市街地の個人住宅や商店街など個人財産に多くの被害が発生した。

#### ○復興途中での被災

中越地震の被災地と重なっており、復興途中にあった地域が再び被災した。

#### ○中越地震の教訓をいかした対応

救援物資やボランティアの受入・対応など、中越地震の教訓がいかされている場面も多くみられた。

#### ○原子力発電所が被災

原子力発電所の被災により、微小なものを含めて3,400件を超える被害、トラブルが発生。地域住民に不安を与えるとともに、風評被害が発生した。

#### ○自動車部品メーカーの被災

自動車製造に必須の部品を高いシェアで生産する自動車部品メーカーの被災により、多くの自動車メーカーが操業休止状態になるなど影響を受けた。

## ④ 新潟県中越沖地震

### 商店街の被災



中心商店街の被災(柏崎市)



中心商店街の被災(柏崎市)

柏崎市、刈羽村、出雲崎町などの中心部に被害が集中し、中心市街地の個人住宅や商店街など個人財産に多くの被害が発生した。

(資料)左図:新潟県(2009)「新潟県中越沖地震」

右図:柏崎市(2009)「がんばろう!輝く柏崎 さらなる未来へ 7.16. 中越沖地震記録集 柏崎市」

## ④ 新潟県中越沖地震

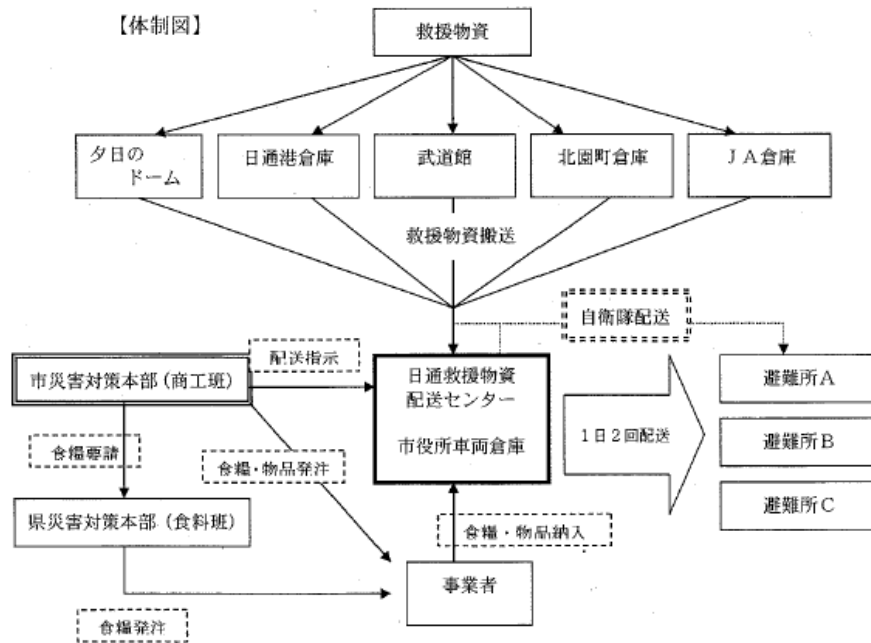
### 柏崎市内の中心商店街の復旧状況

	被災前	7/24.25	8/9.10	9/13	11/29, 1/24	H20 .6/24	廃業
店舗数	254	143	207	236	246	249	5
(割合)	100 %	56 %	81 %	93 %	97 %	98 %	2 %

柏崎市内の254店舗のうち、高齢化等の理由もあって廃業した5店舗以外の、249店舗(98%)が、平成20年6月24日時点で、復旧している。

# ④ 新潟県中越沖地震

## 物資調達の改善



救援物資配送体制(柏崎市)



多くの事業者が連携して、緊急物資輸送を実施

輸送業者の持つ専門性を利用して、主に次のような対応が実施された。

- トラック協会の物流のプロを仕分けに派遣（発災2日目）
- 被災地外で必要なものを混載し直接避難所に配送（発災3日目）
- 輸送業者による配送センターを設置（発災4日目）

(資料)左図:新潟県商工班 右図:社団法人全日本トラック協会HP

本文:田村圭子、林春男ほか(2008)「課題解決型災害対応を実現するための活動支援体制の検討:新潟県中越沖地震の対応組織の活動を事例として」地域安全学会論文集No.10、pp.483-493

## ④ 新潟県中越沖地震

### 原子力発電所・ごみ処理施設の被災



柏崎刈羽原子力発電所3号機所内変圧器の火災



柏崎市のゴミ処理施設(クリーンセンター)の被災

柏崎刈羽原子力発電所の被災により、観光・農業・漁業等で甚大な風評被害が発生した。また、柏崎市では、ゴミ処理施設(クリーンセンター)の被災によって、可燃ごみの処理ができなくなり、震災廃棄物処理の遅れが問題となった。

(資料)左図:新潟県(2009)「新潟県中越沖地震」

右図:柏崎市(2009)「がんばろう!輝く柏崎 さらなる未来へ 7.16. 中越沖地震記録集 柏崎市」



# ④ 新潟県中越沖地震

## 原発被災を受けた風評被害の例 (イタリアサッカーチームの来日中止)

The screenshot shows the J's GOAL website interface. At the top, there are various club logos and navigation tabs for 'ニュース' (News), 'フォト' (Photo), 'データ' (Data), '日程・結果' (Schedule/Results), 'サポーターゾーン' (Supporter Zone), and 'スタジアムガイド' (Stadium Guide). The main content area features a news article titled 'プレシーズンマッチ(対カターニャ戦)の中止およびチケットの払い戻しについて【千葉】(07.07.24)'. The article text explains that the Italian Serie A team Calcio Catania's tour of Japan was cancelled due to the Fukushima nuclear disaster, and that tickets for the cancelled match will be refunded. A sidebar on the right contains promotional banners for 'スタジアムの感動を! J's GOALの熱き挑戦' and a '新着ニュース' (New News) section listing recent matches and reports.

HOME > ニュース > オフィシャルニュース > ジェフユナイテッド千葉

オフィシャルニュース

プレシーズンマッチ(対カターニャ戦)の中止およびチケットの払い戻しについて【千葉】  
(07.07.24)

イタリア・セリエA所属のカルチョ・カターニャが「カターニャ ジャパン ツアー 2007」として来日し、8月5日(日)にフクダ電子アリーナにてジェフユナイテッド市原・千葉とも対戦する予定でしたが、カターニャより、来日を中止するとの連絡をうけました。つきましては、ジェフとのプレシーズンマッチも中止となりましたので、お知らせいたします。

なお、既にお求めいただいたチケットについては、下記のとおり払い戻しを行います。楽しみにしていた皆さまにはご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんが、何卒ご了承ください。

リーグ戦は8月11日(土)に再開となります。後半戦の応援もぜひお願いいたします。

■ 大会企画会社発表「カターニャ ジャパンツアー2007」開催中止の事由

7月16日に新潟中越沖で起こりました地震、またそれに起因する柏崎刈羽原子力発電所から放射能が漏れた疑いがあるというニュースが報道され、特に、イタリア国内で、繰り返し報道されている、放射能漏れによる避難民の発生というニュースを重く受け止め、今回予定しておりましたジャパンツアーを別時期に延期したいとの要望があり、カターニャ側との話し合いを進め、安全性についても問題の無いことを理解して頂く様、公的機関と同一歩調をとり説得に努めて参りましたが、クラブ内の各レベルからの反発が強く、やむを得ず今回のジャパンツアーを中止することと致しました。

全国の本屋、WEB等で発売中! >>>

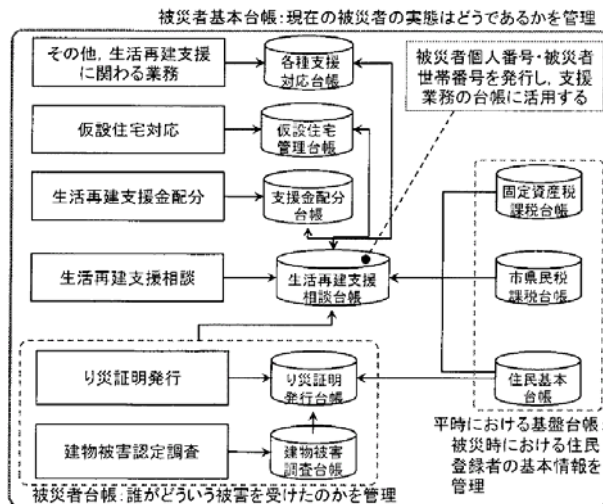
新着ニュース

- 【レッツゴーACL】アウェイへ行こう! 広島が4月13日にご対戦する山東魯能 スタジアムの地図等【J's GOAL】
- 【レッツゴーACL】アウェイへ行こう! 広島が4月13日にご対戦する山東魯能編【J's GOAL】
- 【レッツゴーACL】アウェイへ行こう! 鹿島が4月14日にご対戦 長春 現地へのアクセス編【J's GOAL】
- 【レッツゴーACL】アウェイへ行こう! 鹿島が4月14日にご対戦長春の現地写真レポート!【J's GOAL】
- 【J1:第6節 清水 vs 仙台】レポート:攻撃が活性化してきた清水が、勢いのある仙台に快勝。得点でも失点でもリーグ首位に!【J's GOAL】

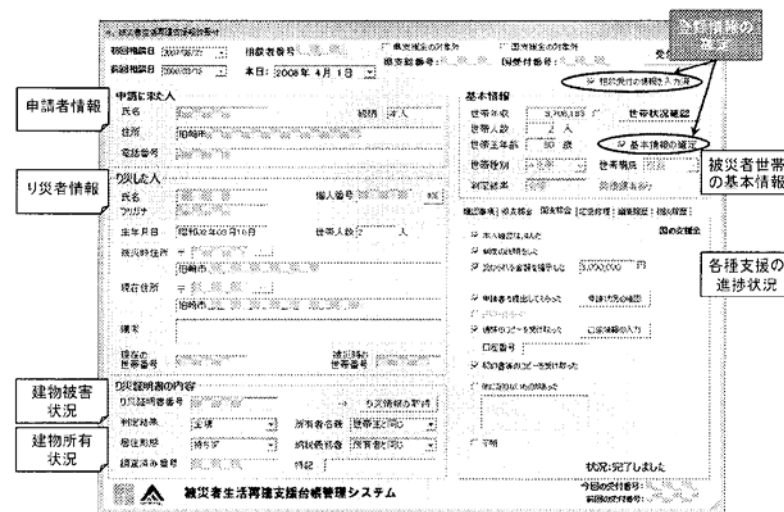
more

# ④ 新潟県中越沖地震

## 一元的な被災者生活再建支援



被災者基本台帳を構成する各種台帳と業務の関係



被災者の基本情報閲覧・更新画面

柏崎市復興支援室では、被災者生活再建支援台帳システムの導入により、次のような効果が得られた。

- 情報を一元的に管理し、各種支援業務の効率化が図られた
- きめ細かい支援、均一かつ公平なサービス提供が可能となった  
(相談所に訪れていない被災者世帯や、支援金が未支給の被災者世帯の洗い出し)
- Push型※の行政サービスの提供が可能となった

※「Push型」の支援業務遂行では、アクションを起こしていない被災者世帯を同定し、市から各世帯の実態に応じたアクションを起こすような仕掛けをとる。

(資料)井ノ口宗成、林春男ほか(2008)「被災者基本台帳に基づいた一元的な被災者生活再建支援の実現：2007年新潟県中越沖地震災害における「柏崎市被災者生活再建支援台帳システム」の構築」地域安全学会論文集No.10、pp.553-563

## ⑤ 岩手・宮城内陸地震

① 発生日時 平成20年6月14日(土) 8:43

② 震源地 岩手県内陸南部  
(北緯39度01.7分、東経140度52.8分)

③ 震源の深さ 8 km

④ 規模 マグニチュード 7.2

⑤ 各市町村の最大震度(震度6弱以上)

震度6強 岩手県 奥州市

宮城県 栗原市

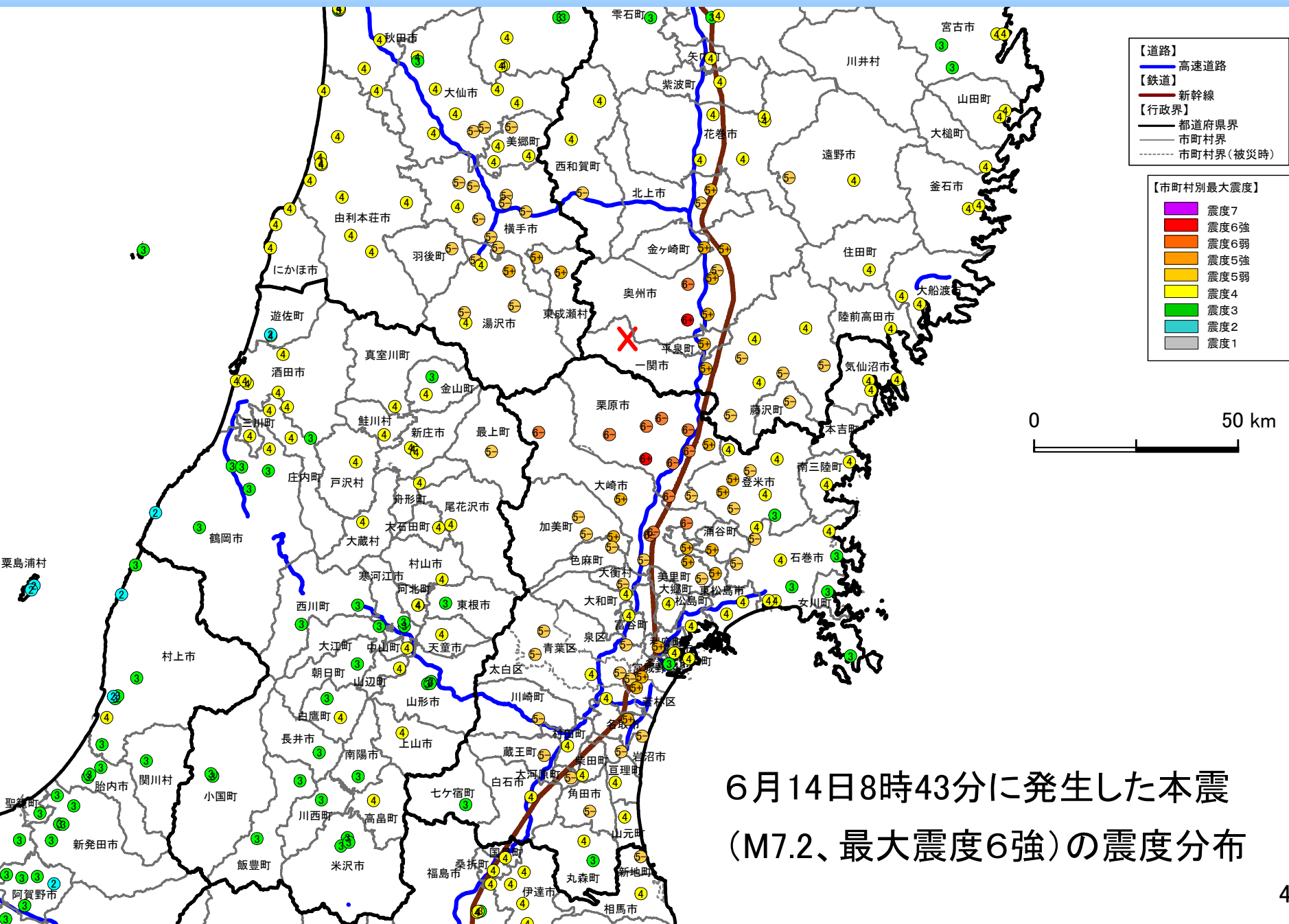
震度6弱 宮城県 大崎市

⑥ 被害状況 人的被害

(死者17名 行方不明者6名 負傷者426名)

住家被害(全壊30棟)

# ⑤ 岩手・宮城内陸地震



6月14日8時43分に発生した本震  
 (M7.2、最大震度6強)の震度分布

## ⑤ 岩手・宮城内陸地震

### 特徴

#### ○土砂災害が多発

岩手県・宮城県境の山間部で、土砂崩れ、土石流、地すべりなど土砂災害が多数発生。宮城県栗原市駒の湯温泉で、土石流により7人が死亡・行方不明。本地震による死者17名のうち12名は土砂災害によるものであり、土砂災害の被害が顕著であった。

#### ○孤立集落が発生

栗原、一関の両市で土砂崩れによる道路寸断など、2市7地区503人が孤立。住民の中には、集落を離れたがらない人もあり、集落外への避難が難航した事例もみられる。

#### ○河道閉塞の発生

一関市磐井川流域と栗原市迫川流域で、道路崩壊や地すべり、土砂崩れによる河道閉塞(天然ダム)が多数(岩手・宮城両県で15箇所)発生。

## ⑤ 岩手・宮城内陸地震

### 土砂災害の発生（河道閉塞）



磐井川(一関市 市野々原地区)



磐井川(一関市 市野々原地区)

土砂災害による河道閉塞(天然ダム)が多数発生。下流域での二次災害防止のために、ポンプや排水路等による排水作業が応急的に行われた。

(資料)左図:国土交通省「国直轄での施工が決まった河道閉塞(天然ダム)の8地区の現場状況」

右図:国土交通省「国直轄での施工が決まった河道閉塞(天然ダム)の8地区の現場状況」

## ⑤ 岩手・宮城内陸地震

### 道路寸断による孤立集落の発生



避難勧告が出された民家の近くの市道。人の背丈より大きな岩が崩落(6月23日午後4時ごろ・奥州市衣川区)

栗原市		
	孤立した集落	人口(人)※
1	耕英	100
2	金沢	48
3	中村	78
4	浅布(アザブ)	76
合計		302

※平成20年6月30日現在

道路寸断、橋梁の落橋等により、多数の人が孤立した。各機関の連携により、340人がヘリコプターにより救助された。

(資料)左図:奥州市HP「被害状況の写真」

右図:ヒアリング結果より

# ⑤ 岩手・宮城内陸地震

## ヘリコプターの円滑な運用



ヘリコプター運用調整班(栗原市)

### ヘリコプター運用調整班参加機関

- (1) 陸上自衛隊
- (2) 航空自衛隊
- (3) 国土交通省東北地方整備局
- (4) 第二管区海上保安本部
- (5) 仙台消防局
- (6) 警察機関 (秋田県、山形県、新潟県、神奈川県、山梨県、宮城県、警視庁)
- (7) 都道府県 (秋田県、山形県、福島県、新潟県、群馬県、埼玉県、東京都、石川県、富山県、山梨県、宮城県)

### ヘリコプター運用調整班の活動内容

- (1) 参画機関に対して、①参画ヘリの活動状況、②運用調整班の調整による災害対策活動等への参画の可否、③調整ヘリの装備・活動可能内容等を把握
- (2) 被災市町村に対して、ヘリコプターによる災害対策活動等の必要の有無を調査
- (3) 調整ヘリの①配置、②活動拠点の調整、③燃料補給体制の調整、④参画ヘリの活動に必要な地上活動の支援の調整
- (4) サイレントタイム(下敷きになった被災者を捜すため、ヘリコプターの使用を抑える時間)実施の検討
- (5) 安全運航確保のための航空交通情報の発出の検討
- (6) 航空交通情報の提供エリア、提供方法の検討
- (7) ノータム(航空路や特定の地域での危険要因の存在を操縦士に警告する情報)発出の検討
- (8) ヘリコプターの災害対策活動等に関連する情報収集及び提供
- (9) その他ヘリコプター等の効率的な運用及び安全の確保のため必要な事項に関すること

ヘリコプター災害対策活動計画に基づいて、ヘリコプターによる関連機関の効率的な災害対策活動と安全運航を確保するために、ヘリコプター運用調整班を県庁内に設置した。



# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ①新潟県中越地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応	
H16	10	23	土	1日目	17:56	●新潟県中越地震発生 M6.8、最大震度7(新潟県川口町)上越新幹線が脱線					
						◇新潟県災害対策本部自動設置					
					-	□上越市、広神村、大潟町が災害対策本部設置以降計52市町村で災害対策本部を順次設置					
					21:05	○自衛隊/新潟県知事から派遣要請					
					-	○政府現地連絡対策室を新潟県庁に設置					
					-	◇災害救助法適用決定					
		24	日	2日目	9:00	◇新潟県、災害ボランティア本部設置					
					-	◇応急危険度判定(11月10日まで)					
					-	□長岡市、栃尾市、柏崎市、十日町市、川西町で災害ボランティアセンターを設置					
					9:00	□山古志村が災害対策本部設置					
		26	火	4日目	12:00	●避難/最大時103,178人が避難					
					-	◇県災害救援ボランティア本部中越センターを設置					
		27	水	5日目	-	◇応急仮設住宅の建設に着手					
					-	□孤立した山古志村の全村避難完了、小千谷市池ノ平地区孤立住民全員救出					

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ①新潟県中越地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応	
H16	10	29	金	7日目	-					□山古志村民の一時帰村	
		30	土	8日目	-					□山古志村民の一時帰村	
	11	2	火	11日目	-					◇新潟県、救援物資を管理する県救援物資配送センターを設置	
		3	水	12日目	-					◇県救援物資配送センターの運用開始(～17年3月末)	
		24	水	33日目	-					◇応急仮設住宅の入居開始(長岡市、小国町)	
		26	金	35日目	-					●関越自動車道の全線4車線で通行確保	
	12	1	水	40日目	-					○中越大震災を激甚災害として指令する政令公布	
		3	金	42日目	-					○政府現地連絡対策室を閉鎖	
		18	土	57日目	-					◇応急仮設住宅建設完了	
		21	火	60日目	9:00						●避難者数、避難所数ゼロを確認
					15:00						○自衛隊/新潟県知事から撤収要請 (派遣規模延べ約125,000名、車両約46,800両、航空機約1,790機)
		27	月	66日目	-						●JR上越線、飯山線が全線で運転再開
	28	火	67日目		5:48					●上越新幹線運転再開(新潟駅発) (県内の全てのJR路線が復旧)	
	H19	12	31	月	39ヶ月目	-					◇仮設住宅が全て解消

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ②福岡県西方沖を震源とする地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応
H17	3	20	日・祝	1日目	10:53	●福岡県西方沖を震源とする地震発生 M7.0、最大震度6弱(福岡県福岡市、前原市、佐賀県みやき町)				
					10:57	●津波注意報発表(12:00注意報解除)				
					11:20	□福岡市災害対策本部設置				
					12:40	○自衛隊/福岡県知事から派遣要請				
					13:15	□福岡市災害対策本部会議(1回目)開催				
					14:32	□福岡市、消防ヘリコプターにより市職員を玄界島に派遣				
					15:15	□福岡市、玄界島現場本部設置				
					17:00	●玄界島避難開始				
					19:00	◇災害救助法適用決定通知				
					24:00	●玄界島避難住民の避難所への収用完了				
					-	□福岡市、応急危険度判定実施(3月31日まで)				
		21	月	2日目	-	□福岡市社会福祉協議会において、福岡市災害ボランティアセンターを設置				

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ②福岡県西方沖を震源とする地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応		
H17	3	29	火	10日目	-					◇玄界島、かもめ広場で仮設住宅着工		
		4	12	火	24日目	-					□玄界島復興事務所設置	
			20	水	32日目	-					□玄界島復興事務所(仮設)開設	
			24	日	36日目	-					◇応急仮設住宅建設完了(かもめ広場)	
			25	月	37日目	-						◇応急仮設住宅建設完了(玄界島)
						-						◇応急仮設住宅入居開始
						17:00						○自衛隊/福岡県知事から撤収要請(派遣規模延べ約4,100名、車両約450両、航空機86機、艦艇18隻)
			30	土	42日目	-					●漁再開	
H20	3	25	土	13ヶ月目	-					●玄界島避難住民、全員帰島		
					-						□玄界島復興事務所解散	

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ③能登半島地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応
H19	3	25	日	1日目	9:41	●能登半島地震発生 M6.9、最大震度6強(石川県七尾市、輪島市、穴水町)				
					10:00	□七尾市が災害対策本部を設置以降輪島市(10:10)、穴水町(10:20)等が順次災害対策本部を設置				
					10:13	●能登空港閉鎖(26日運行再開)				
					11:08	○自衛隊/石川県知事から派遣要請(H19.4.8撤収)				
					16:30	◇3市4町に災害救助法の適用を決定				
					12:30	◇石川県が災害対策本部を設置(同時に奥能登総合事務所に現地災害対策本部を設置)				
						◇石川県が災害対策ボランティア本部を設置				
					-	○政府現地連絡対策室を輪島市役所に設置				
					-	◇応急危険度判定(3月30日まで)				
					26	月	2日目	-	●全ての停電を解消	
	27	火	3日目	-	◇石川県社会福祉協議会において、石川県社協災害対策ボランティア本部を設置					
				-	□輪島市社会福祉協議会において、輪島市災害ボランティアセンター輪島、輪島市災害ボランティアセンター門前を設置					
				-	□穴水町社会福祉協議会において、穴水町災害対策ボランティア現地本部を設置					
	28	水	4日目	-	◇石川県現地災害対策本部を奥能登総合事務所から輪島市役所へ移設					

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ③能登半島地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応
H19	3	29	木	5日目	-					◇ボランティア輸送バスの運行を開始(4月22日まで)
		30	金	6日目	-					◇応急危険度判定調査を完了(7600棟)
	4	7	月	14日目	-					●全ての断水を解消
		8	日	15日目	10:08					○自衛隊/石川県知事から撤収要請 (派遣規模延べ約2,730名、車両約1,050両、航空機約60機)
		24	火	31日目	-					○政府現地連絡対策室を閉鎖
					-				◇石川県現地災害対策本部を閉鎖	
	28	土	35日目	-					◇応急仮設住宅入居開始	
	5	3	木	40日目	-					●全ての避難所閉鎖
	7	7	土	105日目	-					●夜間交通止めの一般国道249号を除き、県管理道路の通行止箇所が全て解消
	9	24	月	6ヶ月目	-					◇災害救助法に基づく全壊世帯、半壊世帯の応急修理が完了
11	30	金	9ヶ月目	-					●能登有料道路の全迂回路(8ヶ所)を解消し、全線で本線共用を再開	
H20	6	6	水	74ヶ月目	-					◇石川県災害対策本部閉鎖

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ④新潟県中越沖地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応		
H19	7	16	月・祝	1日目	10:13	●新潟県中越沖地震発生 M6.8、最大震度6強(新潟県柏崎市、長岡市、刈羽村、長野県飯綱町)						
						◇新潟県災害対策本部自動設置						
					10:49	○自衛隊/新潟県知事から派遣要請						
					-	○政府現地連絡対策室を柏崎市役所に設置						
		17	火	2日目	7:00	●避難/最大時12,724人が126避難所に避難						
					-	□柏崎市社会福祉協議会において、柏崎市災害ボランティアセンターを設置						
					-	□刈羽村社会福祉協議会において、刈羽村災害ボランティアセンターを設置						
					-	□刈羽村デイサービスセンター「きらら」に福祉避難所開設(以降最大9ヶ所)						
					-	◇応急危険度判定(7月25日まで)						
		18	水	3日目	21:59	●電気全面復旧						
	31	火	16日目	15:00	●刈羽村の水道が飲料水として全面復旧							
8	10	金	26日目	-	○政府現地連絡対策室を閉鎖							

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ④新潟県中越沖地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応	
H19	8	10	金	26日目	-					◇新潟県現地対策本部、刈羽駐在閉鎖	
		13	月	29日目	-					◇仮設住宅入居開始(柏崎市、出雲崎町)	
		15	水	31日目	-					◇仮設住宅入居開始(刈羽村)	
					-					●下水道、全て応急復旧完了	
		27	月	43日目	11:00					●柏崎市、刈羽村ガス全面復旧完了	
		29	水	45日目	10:45					○自衛隊/新潟県知事から撤収要請 (派遣規模延べ数92,400名、車両約35,100両、航空機1,184機)	
		31	金	47日目	-					●全ての避難所閉鎖 (柏崎市の避難所閉鎖、福祉避難所閉鎖、旅館の無料宿泊を終了)	
		9	13	日	60日目	-					●JR信越線が全線開通
			18	火	65日目	-					□柏崎市ボランティアセンター閉鎖
			20	木	67日目	-					◇仮設住宅建設工事完了
H21	9	14	金	26ヶ月目	-				◇仮設住宅が全て解消		



# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ⑤岩手・宮城内陸地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応		
H20	6	14	土	1日目	8:43	●地震発生 M7.2、最大震度6強(岩手県奥州市、宮城県栗原市)						
						◇宮城、岩手、秋田各県が災害対策本部設置						
					8:50	□一関市が災害対策本部を設置以降奥州市、栗原市等が順次災対本部を設置(災対本部廃止は奥州市が最も遅く、9月19日17:55その後災害警戒本部に移行)						
					9:45	◇第1回災害対策本部 本部員会議開催						
					10:50	○自衛隊/岩手県知事から派遣要請						
					11:00	○自衛隊/宮城県知事から派遣要請						
					11:25	●胆沢ダム周辺林道で17人乗りバス沢へ転落(16:00救出完了)						
					13:30	●孤立住民救出作戦(19:20まで)						
					-	○政府現地連絡対策室を栗原市役所に設置						
					-	◇被災建築物応急危険度判定開始(6月17日まで)						
					-	◇災害救助法適用決定						
					-	◇宮城県、ヘリコプター運用調整班設置(8月2日まで)						
							15	日	2日目	7:45	●避難/最大時322人が避難	
							11:00	●栗駒山周辺において11ヶ所の河道閉塞を確認				

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## ⑤岩手・宮城内陸地震

年	月	日	曜日	発災後	時間	出来事	国	県	市町村	出来事・対応
H20	6	16	月	3日目	18:50	●停電は全て復旧				
		18	水	5日目	-	□奥州市社会福祉協議会において、奥州市社会福祉協議会 災害救援ボランティアセンターを設置				
		20	金	7日目	-	◇被災宅地危険度判定実施				
		27	金	14日目	-	○自衛隊/岩手県知事から撤収要請				
	7	1	火	18日目	17:30	◇宮城県が災害対策本部を災害復旧対策本部へ移行				
		11	金	28日目	-	●応急仮設住宅入居開始				
		14	月		-	○政府現地連絡対策室を閉鎖				
		15	火	29日目		◇岩手県が災害対策本部を岩手・宮城内陸地震災害復旧・復興 推進本部へ移行				
	8	2	土	50日目	-	○自衛隊/宮城県知事から撤収要請 (両県派遣規模延べ数26,290名、車両約7,950両、航空機606機)				
	9	19	金	98日目	-	□奥州市第68回災害対策本部会議(以降、災害警戒本部に 切り替え)				
H21	2	21	土	9ヶ月目	-	●避難所閉鎖				

# 参考：応急・復旧時の時系列対応

## 主な災害対応の比較（例）

国	県	市町村	出来事・対応	①新潟県 中越地震	②福岡県 西方沖地震	③能登半島 地震	④新潟県 中越沖地震	⑤岩手・宮城内陸 地震
地震発生				H16.10.23(土) 17:56 最大震度7	H17.3.20(日・祝) 10:53 最大震度6弱	H19.3.25(日) 9:41 最大震度6強	H19.7.16(月・祝) 10:13 最大震度6強	H20.6.14(土) 8:43 最大震度6強
被害規模(概要)		人的被害		死者68名 負傷者4,805名	死者1名 負傷者1,204名	死者1名 負傷者356名	死者15名 負傷者2,346名	死者17名 行方不明者6名 負傷者426名
		住家被害		全壊3,175棟 半壊13,810棟	全壊144棟 半壊353棟	全壊686棟 半壊1,740棟	全壊1,331棟 半壊5,709棟	全壊30棟 半壊146棟
○自衛隊派遣要請				21:05 (3時間9分後)	12:40 (1時間47分後)	11:08 (1時間27分後)	10:49 (36分後)	岩手県10:50 (2時間7分後) 宮城県知事11:00 (2時間17分後)
○政府現地連絡調整室/連絡対策室の設置				23:00 (5時間4分後)	—	17:00頃 (約7時間20分後)	1日目	16:30 (7時間47分後)
◇災害救助法適用決定				23:00頃 (約5時間後)	19:00 (8時間7分後)	16:30 (6時間49分後)	20:00 (9時間47分後)	19:00 (10時間17分後)
□(社協)市町村災害ボランティア センター設置				2日目	2日目	3日目	2日目	5日目
◇応急危険度判定実施				2～19日目	1～12日目	1～6日目	2～10日目	3～7日目
◇応急仮設住宅の建設に着手				5日目	10日目	7日目	8日目	10日目
◇救援物資配送センター設置				11日目			4日目	
◇応急仮設住宅入居開始				33日目	37日目	35日目	29～31日目	28日目
◇応急仮設住宅建設完了				57日目	37日目		67日目	46日目

# 参考：市町村別被害概要

## ①新潟県中越地震

都道府県	市町村(被災時)	震度	市町村(H17国勢調査現在)	人口(H17国勢調査)	人的被害(人)					住家被害(棟)				法令関係								
					死者	行方不明	重傷	軽傷	合計(重軽傷)	合計(人的被害)	全壊	半壊	一部破損	合計(住家被害)	災害救助法適用	激甚災害指定(局激)						
																公共土木(第2章)	農地等(第5条)	農林水産業共同利用施設(第6条)	中小企業(第12条、第13条)	小災害債(第24条)		
計					68	0	633	4,172	4,805	4,873	3,175	13,810	105,682	122,667								
福島県					0	0	0	0	0	0	0	0	1	1								
群馬県					0	0	0	6	6	6	0	0	1,055	1,055								
埼玉県					0	0	0	1	1	1	0	0	0	0								
新潟県					68	0	632	4,163	4,795	4,863	3,175	13,810	104,619	121,604								
長野県					0	0	1	2	3	3	0	0	7	7								
新潟県	巻町	5弱	新潟市	813,847			1	1	1	1					○							
	長岡市	6弱	長岡市	283,224	12		257	1,851	2,108	2,120	927	5,873	42,681	49,481	○							
	栃尾市	6弱			1		14	78	92	93	45	300	5,781	6,126	○							
	中之島町	5強					5	13	18	18		26	2,573	2,599	○							
	越路町	6弱			3		5	88	93	96	152	834	2,660	3,646	○							
	三島町	6弱					2	6	8	8	3	25	1,677	1,705	○							
	与板町	5強						4	4	4		6	995	1,001	○							
	和島村	5強					2	1	3	3			305	305	○							
	山古志村	6強			5		12	13	25	30	339	297	111	747	○						○	
	小国町	6強			1		1	23	24	25	125	644	1,173	1,942	○							
	三条市	5弱	三条市	104,749				8	8	8			301	301	○							
	栄町	5弱					3	3	3	3		8	517	525	○							
	柏崎市	5弱	柏崎市	94,648			12	53	65	65	27	293	4,586	4,906	○							
	高柳町	5弱						0	0	0		3	268	271	○							
	西山町	5弱					1	6	7	7	11	34	658	703	○							
	小千谷市	6強	小千谷市	39,956	19		120	665	785	804	622	2,756	7,514	10,892	○							○
	加茂市	5弱	加茂市	31,482			1	3	4	4		4	127	131	○							
	十日町市	6弱	十日町市	62,058	8		55	502	557	565	100	1,019	11,075	12,194	○							○
	川西町	6弱			1		14	11	25	26	5	87	1,559	1,651	○							
	中里村	6弱					1	8	9	9		9	659	668	○							
	松代町	5強					1	1	1	1		3	350	353	○							
	松之山町	5強						0	0	0		2	90	92	○							
	見附市	5強	見附市	42,668	3		49	465	514	517	52	533	9,332	9,917	○							
	燕市	5弱	燕市	83,269	1			1	1	2	2	2	54	56	○							
	分水町	5弱						2	2	2	8	24	87	119	○							
	吉田町	5弱			1			0	1	2			2	2	○							
	上越市	5弱	上越市	208,082				1	1	1			10	10	○							
	安塚町	5強						0	0	0			8	8	○							
	浦川原村	5弱						1	1	1				0	○							
	牧村	5弱						0	0	0			1	1	○							
	柿崎町	5弱						0	0	0			2	2	○							
	三和村	5弱						0	0	0			4	4	○							
	堀之内町	6弱	魚沼市	43,555	1		10	138	148	149	56	259	1,492	1,807	○							
	小出町	5強			1		5	69	74	75	1	19	1,129	1,149	○							
	湯之谷村	5弱			2		1	21	22	24			386	386	○							
	広神村	6弱			1		3	45	48	49	12	76	1,226	1,314	○							
	守門村	6弱					2	19	21	21	6	33	689	728	○							
	入広瀬村	6弱					1	2	3	3		5	140	145	○							
	塩沢町	5強	南魚沼市	63,329			4	1	5	5			707	707	○							
	六日町	5強					1	14	15	15	3	1	846	850	○							
	大和町	5強			1		5	1	6	7	4	3	817	824	○							
	出雲崎町	5強	出雲崎町	5,338			1	1	1	1			7	100	107	○						
	川口町	7	川口町	5,233	6		38	24	62	68	606	490	297	1,393	○							○
	津南町	5強					3	10	13	13		1	233	234	○							
	刈羽村	6弱	刈羽村	4,806			3	5	8	8	67	124	790	981	○							
長野県	三水村	5弱	飯綱町	12,504				1	1	1					○							

※次の項目については、激甚災害(本激)を全国に適用

- (1) 公共土木施設災害復旧事業等に関する特別の財政援助(法第2章)
- (2) 農地等の災害復旧事業等に係る補助の特別措置(法第5条)
- (3) 農林水産業共同利用施設災害復旧事業費の補助の特例(法第6条)
- (4) 開拓者等の施設の災害復旧事業に対する補助(法第7条第3号)
- (5) 事業協同組合等の施設の災害復旧事業に対する補助(法第14条)
- (6) 公立社会教育施設災害復旧事業に対する補助(法第16条)
- (7) 私立学校施設災害復旧事業に対する補助(法第17条)
- (8) り災者公営住宅建設等事業に対する補助の特例(法第22条)
- (9) 小災害債に係る元利償還金の基準財政需要額への算入等(法第24条)

(資料)消防庁(2009)「平成16年(2004年)新潟県中越地震(確定報)」 60

# 参考：市町村別被害概要

## ②福岡県西方沖を震源とする地震

都道府県	市町村 (被災時)	震度	市町村 (2009.4.1 現在)	人口 (H17 国 勢調査) (人)	人的被害(人)					住家被害(棟)			法令関係						
					死者	行方 不明	重傷	軽傷	合計 (重軽 傷)	合計 (人の 被害)	全壊	半壊	一部破 損	合計 (住家 被害)	災害 救助 法適 用	局激 公共 土木 (第2 章)	激甚 農地 等(第 5条)	災害指定 (局激) 農林 水産 業共 同利 用施 設(第 6条)	中小 企業 (第12 条、 第13 条)
計					1	0	198	1,006	1,204	1,205	144	353	9,338	9,835					
山口県					0	0	0	1	1	1	0	0	1	1					
福岡県					1	0	197	989	1,186	1,187	143	352	9,185	9,680					
佐賀県					0	0	1	14	15	15	0	1	136	137					
長崎県					0	0	0	2	2	2	1	0	14	15					
大分県					0	0	0	0	0	0	0	0	2	2					
福岡県	北九州市	5弱	北九州市	993,525				3	3	3			5	5					
	福岡市	6弱	福岡市	1,401,279	1		163	875	1,038	1,039	141	323	4,756	5,220	○				
	久留米市	5強	久留米市	306,434				9	9	9			1	1					
	飯塚市	5弱	飯塚市	133,357									75	75					
	穂波町	5強						2	2	2			1	1					
	柳川市	5弱	柳川市	74,539					5	5									
	大川市	5強	大川市	39,213				1	5	6			1	1					
	中間市	5弱	中間市	46,560					1	1									
	春日市	5強	春日市	108,402				10	3	13	13		1	236	237				
	大野城市	5弱	大野城市	92,748					1	3	4			217	217				
	宗像市	5弱	宗像市	94,148					1	2	2			59	59				
	大島村	5弱												8	8				
	前原市	6弱	前原市	67,275				9	44	53	53		1	1,407	1,408				
	古賀市	5弱	古賀市	55,943								1	6	235	242				
	福津市	5弱	福津市	55,677				1		1	1		2	33	35				
	若宮町	5弱	宮若市	30,630					1	1	1			107	107				
	碓井町	5強												9	9				
	那珂川町	5弱	那珂川町	46,972					1	1	1			196	196				
	宇美町	5弱	宇美町	39,136								1	1	53	55				
	篠栗町	5弱	篠栗町	30,985				1	4	5	5			28	28				
	志免町	5弱	志免町	40,557				1	13	14	14			55	55				
	須恵町	5強	須恵町	25,601					2	2	2			108	108				
	新宮町	5強	新宮町	23,447					2	2	2			216	216				
	久山町	5強	久山町	7,858					3	3	3			13	13				
	粕屋町	5強	粕屋町	37,685				1		1	1			6	6				
	遠賀町	5弱	遠賀町	19,279										8	8				
	二丈町	5強	二丈町	13,409				1		1	1			107	107				
	志摩町	5強	志摩町	17,290				5	1	6	6		16	920	936				
	大木町	5弱	大木町	14,282										2	2				
	添田町	5弱	添田町	11,810										4	4				
佐賀県	三瀬村	5弱												1	1				
	唐津市	5弱	唐津市	131,116					4	4	4			37	37				
	七山村	5強												5	5				
	鳥栖市	5弱	鳥栖市	64,723					2	2	2								
	北方町	5弱												3	3				
	小城市	5弱	小城市	45,852					1	1	1								
	千代田町	5弱						1	1	1				8	8				
	上峰町	5強	上峰町	9,090										5	5				
	みやき町	6弱	みやき町	27,157										6	6				
	白石町	5強	白石町	27,057					3	3	3			64	64				
長崎県	壱岐市	5強	壱岐市	31,414					2	2	2	1		14	15				
大分県	中津市	5弱	中津市	84,368										2	2				

(資料) 消防庁(2009)「福岡県西方沖を震源とする地震(確定報)」

# 参考：市町村別被害概要

## ③能登半島地震

都道府県	市町村 (被災時)	震度	市町村 (2009.4.1 現在)	人口 (H17 国 勢調査) (人)	人の被害(人)				住家被害(棟)				法令関係							
					死者	行方 不明	重傷	軽傷	合計 (重軽 傷)	合計 (人の 被害)	全壊	半壊	一部破 損	合計 (住家 被害)	災害 救助 法適 用	局地 公共 土木 (第2 章)	激甚 農地 等(第 5条)	災害指定 農林 水産 業共 同利 用施 設(第 6条)	中小 企業 (第12 条、 第13 条)	小災 害債 (第24 条)
計					1	0	91	265	356	357	686	1,740	26,958	29,384						
新潟県					0	0	1	3	4	4	0	0	3	3						
富山県					0	0	1	12	13	13	0	0	0	0						
石川県					1	0	88	250	338	339	686	1,740	26,955	29,381						
福井県					0	0	1	0	1	1	0	0	0	0						
富山県	富山市	5弱	富山市	421,239			1		1	1										
	氷見市	5弱	氷見市	54,495				1	1	1										
	小矢部市	5弱	小矢部市	33,533				1	1	1										
	射水市	5弱	射水市	94,209				2	2	2										
石川県	七尾市	6強	七尾市	61,871			24	103	127	127	69	304	7,296	7,669	○	○			○	○
	輪島市	6強	輪島市	32,823	1		46	69	115	116	513	1,086	9,988	11,587	○	○	○	○	○	○
	珠洲市	5強	珠洲市	18,050				3	3	3			685	685	○		○	○		○
	羽咋市	5弱	羽咋市	24,517				1	1	1	3	13	142	158						
	かほく市	5弱	かほく市	34,847							3	2	18	23						
	志賀町	6弱	志賀町	23,790			10	27	37	37	15	215	3,384	3,614	○	○	○	○	○	○
	宝達志水町	5弱	宝達志水町	15,236								3	26	29						
	中能登町	6弱	中能登町	18,959			3		3	3	3	7	1,959	1,969	○					
	穴水町	6強	穴水町	10,549			3	36	39	39	79	100	2,318	2,497	○	○	○	○	○	○
	能登町	6弱	能登町	21,792			2	10	12	12	1	10	1,130	1,141	○	○	○	○	○	○

(資料) 消防庁(2009)「平成19年(2007年)能登半島地震(第49報)」

# 参考：市町村別被害概要

## ④新潟県中越沖地震

都道府県	市町村 (被災時)	震度	市町村 (2009.4.1 現在)	人口 (H17 国 勢調査) (人)	人の被害(人)					住家被害(棟)				法令関係						
					死者	行方 不明	重傷	軽傷	合計 (重軽 傷)	合計 (人の 被害)	全壊	半壊	一部破 損	合計 (住家 被害)	災害 救助 法適 用	局 地 激 甚 土 木 (第2 章)	農地 等(第 5条)	農林 水産 業共 同利 用施 設(第 6条)	中小 企業 (第12 条、 第13 条)	小災 害債 (第24 条)
計					15	0	356	1,990	2,346	2,361	1,331	5,709	37,301	44,341						
新潟県					15	0	350	1,966	2,316	2,331	1,331	5,709	36,945	43,985						
富山県					0	0	0	1	1	1	0	0	0	0						
長野県					0	0	6	23	29	29	0	0	356	356						
新潟県	長岡市	6強	長岡市	283,224			65	178	243	243	10	458	7,037	7,505	○	○				○
	三条市	5強	三条市	104,749			4	28	32	32		1	126	127	○					
	柏崎市	6強	柏崎市	94,648	14		217	1,447	1,664	1,678	1,121	4,583	22,720	28,424	○	○	○	○	○	○
	小千谷市	6弱	小千谷市	39,956			1	39	40	40			300	300	○					
	十日町市	5強	十日町市	62,058				8	8	8	1	14	360	375	○					
	燕市	5強	燕市	83,269			3	7	10	10	2	13	881	896	○					
	上越市	6弱	上越市	208,082			22	136	158	158	14	63	2,707	2,784	○					
	南魚沼市	5強	南魚沼市	63,329				4	4	4			17	17	○					
	出雲崎町	6弱	出雲崎町	5,338			2	8	10	10	17	131	1,383	1,531	○	○	○	○	○	○
	刈羽村	6強	刈羽村	4,806	1		31	85	116	117	166	441	654	1,261	○		○	○	○	○
長野県	中野市	5強	中野市	46,788			1	3	4	4			75	75						
	飯山市	5強	飯山市	24,960			2	17	19	19			102	102						
	飯綱町	6強	飯綱町	12,504			2	1	3	3			142	142						

(資料)消防庁(2009)「平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(第52報)」

# 参考：市町村別被害概要

## ⑤岩手・宮城内陸地震

都道府県	市町村 (被災時)	震度	市町村 (2009.4.1 現在)	人口 (H17 国 勢調査) (人)	人の被害(人)				住家被害(棟)				法令関係						
					死者	行方 不明	重傷	軽傷	合計 (重軽 傷)	合計 (人の 被害)	全壊	半壊	一部破 損	合計 (住家 被害)	災害 救助 法適 用	局激 指定 (局激) 公共 土木 (第2 章)	農地 等(第 5条)	農林 水産 業共 同利 用施 設(第 6条)	中小 企業 (第12 条、 第13 条)
計					17	6	70	356	426	449	30	146	2,521	2,697					
岩手県					2	0	9	28	37	39	2	4	778	784					
宮城県					14	4	54	311	365	383	28	141	1,733	1,902					
秋田県					0	2	5	16	21	23	0	1	9	10					
山形県					0	0	1		1	1	0	0	1	1					
福島県					1	0	1	1	2	3	0	0	0	0					
岩手県	北上市	5強	北上市	94,321									2	2	○				
	一関市	5強	一関市	125,818	1		2	2	3	1	2	266	269	○		○	○		
	奥州市	6強	奥州市	130,171	1		7	25	32	1	2	468	471	○	○	○	○		
	金ヶ崎町	5強	金ヶ崎町	16,396								25	25	○					
	平泉町	5強	平泉町	8,819			1		1			8	8	○					
宮城県	仙台市	5強	仙台市	1,025,098	1		3	23	26	27			10	10					
	名取市	5強	名取市	68,662			1	29	30										
	登米市	5強	登米市	89,316			2	7	9			8	8						
	栗原市	6強	栗原市	80,248	13	4	28	152	180	197	27	128	1,414	1,569	○	○	○	○	
	大崎市	6弱	大崎市	138,491			9	72	81	81	1	7	287	295	○				
	利府町	5強	利府町	32,257				1	1	1									
	加美町	5強	加美町	27,212				2	5	7									
	涌谷町	5強	涌谷町	18,410					1	1									
	美里町	5強	美里町	26,329				7	18	25		6	13	19					
	秋田県	湯沢市	5強	湯沢市	55,290		2	2	5	7	9		1	8	9				

※局激指定対象区域は、

一関市(旧一関市)

奥州市(旧衣川村)

栗原市(旧鶯沢町、旧花山村)

(資料) 消防庁(2009)「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震(第78報)」